

事務事業評価調書

事務事業名	吹田市健康づくり推進事業団補助事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成3年度	改正 内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	吹田市健康づくり推進活動補助金交付要領						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章 03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節 06	細節 10			
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	範囲等	公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団					
	目標 (どういう状態にしたいのか)	補助金を交付し、健康づくり事業を支援する。					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の健康の保持・増進を図ることができる。					
(7) 事業概要	公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団が行う健康づくりのための事業に対する補助 ①平和・健康リレーマラソン(7月実施、市内走行) ②みんなの健康展(9月上旬実施、メイシアター) ③健康情報の収集と提供(「健康すいた」の発行、年2回)						
(8) H28事業別 予算コード	会計 01	款 04	項 01	目 01	大事業 04	中事業 01	小事業 01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		22,212	22,212	23,541	23,541	23,460
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
		総額(B)	千円	836	804	817	790
	総事業費(A+B)		23,048	23,016	24,358	24,331	24,266
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0
		国		0	0	0	0
		府		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
	市負担(D)		23,048	23,016	24,358	24,331	24,266
	(内訳)	地方債		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
		一般財源		23,048	23,016	24,358	24,331
財源計(C+D)		23,048	23,016	24,358	24,331	24,266	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
	主な委託内容						
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団			
②							
③							
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 事業参加者数(平和健康リレーマラソン、みんなの健康展)	目標値	(単位:人)	4,500.00	4,500.00	4,500.00
			実績値	(単位:人)	3,442.00	2,159.00	
			達成度(%)		76.5	48.0	
	目標値の積算方法	各事業の合計定員数 平和健康リレーマラソン1,000人 みんなの健康展3,500人	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	6.69	11.28	/
				一般財源(単位:千円)	6.69	11.28	
			達成度(%)		0.0	0.0	
(2) 成果指標	①	指標内容 みんなの健康展アンケート回答者のうち、参加により健康づくりに対する自己意識の変化があった人の割合(平成26年度以降)	目標値	(単位:%)	100.00	100.00	100.00
			実績値	(単位:%)	80.60	81.60	
			達成度(%)		80.6	81.6	
	目標値の積算方法	アンケート回答者全員 (変わった、少し変わったの合計)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	285.56	298.50	/
				一般財源(単位:千円)	285.56	298.50	
			達成度(%)		0.0	0.0	
(3) が困難な場合	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	/
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	<p>市民の自主的な健康づくりの実践活動を促進し、支援することは、市民の健康増進に寄与するものである。ただし、健康づくり推進事業団の設立趣旨を踏まえつつ、市が直接実施すべき事業と健康づくり推進事業団が実施すべき事業の整理を行い、平成30年度までに健康づくり推進事業団の実施事業の見直しを諮る必要があると考える。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	吹田市健康づくり推進事業団補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00574				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	ー ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		
		72		
評価点合計 (100点満点)	72			

所属名	保健センター	事務事業番号	00574
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

評価の視点(5)③については、他市において比較可能な類似事業がないことから、事業費の水準等の比較・分析を行うことができない。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>事業団が実施する事業については、少子高齢化が進む中、市民の健康づくりへの期待に応えるため、常に健康づくりに関する最新の情報を提供するとともに、各種事業の実施にあたっては外部の関係団体の意見も聴取し、独自性を出しながら実施している。</p> <p>また、一次予防のための健康づくりだけでなく、スポーツ関連の団体とも連携し、体カづくりの観点も含め、幅広く、保健の枠を超えた健康づくり事業を展開するなど、より良い事業計画作りに努めている。</p> <p>しかしながら、同様の事業が複数実施されている等の実態があるため、事業団の設立趣旨等を踏まえながら必要な事業にスクラップ&ビルドする必要があると考えられる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	吹田市立保健センター運営審議会運営事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和61年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	執行機関の附属機関に関する条例、吹田市立総合福祉会館及び吹田市立保健センター運営審議会規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	吹田市立総合福祉会館及び吹田市立保健センターの円滑な運営を行う。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の福祉や健康の増進に寄与する。												
(7)	事業概要	総合福祉会館及び保健センターの円滑な運営について必要な事項を審議する。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	14	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		128	128	128	120	137							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611						
		総事業費(A+B)		1,799	1,736	1,762	1,700	1,748							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0							
		(内訳)	市負担(D)		1,799	1,736	1,762	1,700	1,748						
			地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			1,799	1,736	1,762	1,700	1,748								
財源計(C+D)		1,799	1,736	1,762	1,700	1,748									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 審議会開催回数	目標値	(単位:回)	1.00	1.00	/
			実績値	(単位:回)	1.00	1.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 予算上の1開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,736.00	1,754.00		
			一般財源(単位:千円)	1,736.00	1,754.00		
	②	指標内容 審議会出席委員数	目標値	(単位:人)	18.00	18.00	
実績値			(単位:人)	17.00	16.00		
達成度(%)			94.4	88.9			
目標値の積算方法 委員数×開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	102.12	109.63			
		一般財源(単位:千円)	102.12	109.63			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容	審議会を開催し、保健センターの円滑な運営について審議する。		達成状況	市民の福祉や健康の増進に寄与する円滑な運営を行っている。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		総合福祉会館及び保健センターの円滑な運営を行い、市民の福祉や健康の増進に寄与するものであり、今後も継続すべき事業である。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	吹田市立保健センター運営審議会運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00579				

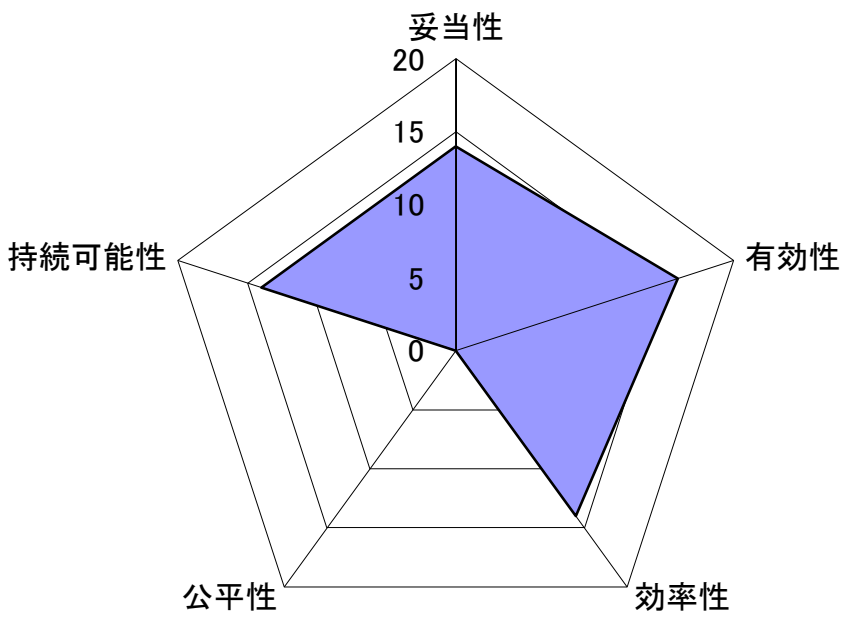
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	14			
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00579
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本審議会において運営状況の確認や実施事業の検討を行うことにより、総合福祉会館及び保健センターの円滑な運営及び市民の福祉や健康の増進のために必要な保健事業等の実施につながっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	「健康すいた21」推進事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成18年度	改正 内容	国及び府の基本指針等の改定											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	健康増進法、健康日本21、大阪府健康増進計画、吹田市民のくらしと健康を支える福祉基本条例 等													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	自らが目標を定め、一人ひとりが自分の健康づくりに取り組めるようになる。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	生活習慣の改善等により、健やかで心豊かな生活が送れるようになる。													
(7)	事業概要	平成27年度に策定した「健康すいた21(第2次)」に基づき、「栄養・食生活」「たばこ対策」「運動・身体活動」「健康管理」などの8つの分野について、健康づくりの取組を広く市民に普及・啓発し、市民の健康の保持・増進に役立てる。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	15	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		4,217	2,015	242	256	213							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.25						
			総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	2,013						
		総事業費(A+B)		5,888	3,623	1,876	1,836	2,226							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		(内訳)	その他		0	0	0	0	0						
			市負担(D)		5,888	3,623	1,876	1,836	2,226						
			地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源		5,888	3,623	1,876	1,836	2,226									
財源計(C+D)		5,888	3,623	1,876	1,836	2,226									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	禁煙相談者数	目標値	(単位:人)	202.00	328.00	0.00
			実績値	(単位:人)	328.00	0.00	/	
		達成度(%)			162.4	0.0		
	目標値の積算方法	「健康すいた21」で設定する目標値が「増加」となっていることから、前年度を上回る数値を目標値とする。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		11.05		0.00
				一般財源(単位:千円)		11.05	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	男性の喫煙率(平成32年度までに19.3%以下)30歳代健診と国保健診受診者の喫煙率、システム上禁煙率を設定	目標値	(単位:%)	75.00	80.70	80.70
			実績値	(単位:%)	77.30	0.00	/	
		達成度(%)			103.1	0.0		
	目標値の積算方法	「健康すいた21(第2次)」で設定する目標値は、喫煙率19.3%以下。つまり、禁煙率80.7%以上を目標値とする。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		46.87		0.00
				一般財源(単位:千円)		46.87	0.00	
	②	指標内容	女性の喫煙率(平成32年度までに5%以下)30歳代健診と国保健診受診者の喫煙率、システム上禁煙率を設定	目標値	(単位:%)	95.00	95.00	95.00
実績値			(単位:%)	94.10	0.00	/		
達成度(%)			99.1	0.0				
目標値の積算方法	「健康すいた21(第2次)」で設定する目標値は、喫煙率5%以下。つまり、禁煙率95%以上を目標値とする。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		38.50		0.00	
			一般財源(単位:千円)		38.50	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本市では、平成28年度から5年間を計画期間とする「健康すいた21(第2次)」を平成28年3月に策定。本計画は健康づくりに関する施策を実施するうえで基本的な方向性を示す計画であり、市民一人ひとりが健康で安心して暮らせるために実施している各種健康づくり事業については、今後も計画的かつ効果的な実施が必要となることから、定期的な進捗状況の管理と市民等への周知等、今後も継続すべき事業である。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	「健康すいた21」推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00596				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00596
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

「健康すいた21」全体の達成度を定量的に評価する指標の設定が困難なことから、他の事業では成果指標として使用していない個別の指標を設定し、その進捗をもって計画全体の評価を行っている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>計画の認知度が低いため、普及のためのさらなる周知が必要である。また、今後は身近な地域で市民が自ら健康づくりに取り組むための支援や、仲間づくりの支援など、地域に密着した健康づくりを進める必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成28年3月に策定した「健康すいた21(第2次)」では、健康増進計画、食育基本計画、歯と口腔(こうくう)の健康づくり推進計画の3計画を一体的に策定しており、今後、健康づくりに係る施策のほか、食育や歯と口腔機能の向上に関する施策についても総合的に推進することとしている。

事務事業評価調書

事務事業名	食育推進事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成21年度	改正 内容	国の食育推進計画の改定、吹田市食育推進計画の改定。											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	食育基本法、食育推進基本計画、大阪府食育推進計画、吹田市食育推進計画													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できるようになる。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育む。													
(7)	事業概要	吹田市食育推進計画(第2次)に基づき、食に対する意識の向上や食生活の改善によって、市民の健康の保持・増進を図るため、食育を推進する。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	15	大事業	05	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		54	32	54	39	69							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611						
		総事業費(A+B)		1,725	1,640	1,688	1,619	1,680							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		1,725	1,640	1,688	1,619	1,680							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			1,725	1,640	1,688	1,619	1,680								
財源計(C+D)		1,725	1,640	1,688	1,619	1,680									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 講演会参加者数	目標値	(単位:人)	150.00	200.00	/
			実績値	(単位:人)	91.00	193.00	
			達成度(%)		60.7	96.5	
	目標値の積算方法 定員数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	18.02	8.67		
			一般財源(単位:千円)	18.02	8.67		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 講演会参加者のうち講座内容を今後の生活に取り入れたいと思った人の割合	目標値	(単位:%)	100.00	100.00	/
			実績値	(単位:%)	74.68	94.00	
			達成度(%)		74.7	94.0	
	目標値の積算方法 アンケート回答者全員	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	21.96	17.80		
			一般財源(単位:千円)	21.96	17.80		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成28年3月に策定した吹田市食育推進計画(第2次)に基づき、「栄養・食生活」「食を通じた豊かな人間形成」「歯と口腔の健康」の3つの分野について、食を中心とした健康づくりの取組を行う。また、本事業のさらなる推進に向けて、保育所や幼稚園、小中学校をはじめとする、市内の各部署や関係団体と連携を図り、より効果的に事業を実施する必要がある。今後も継続すべき事業である。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	食育推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00598				

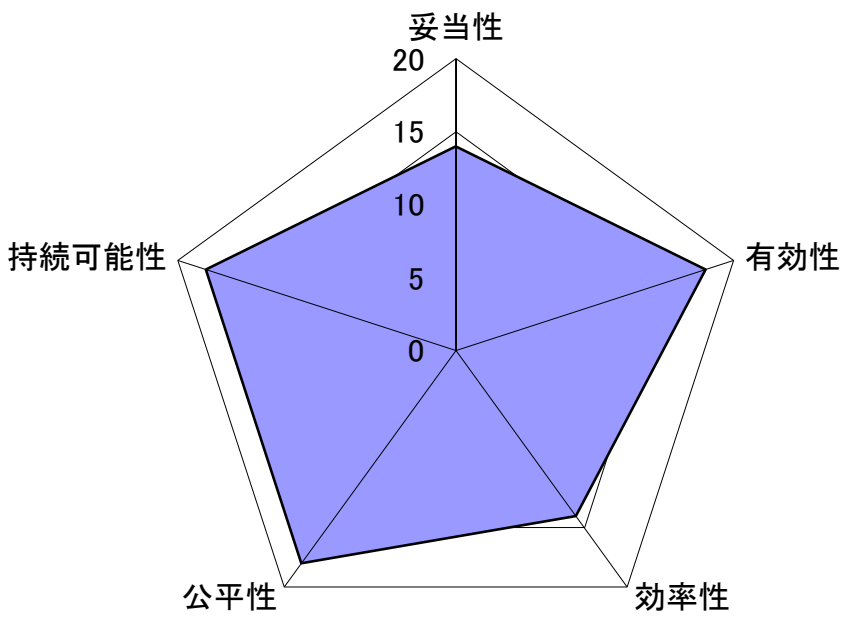
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00598
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市食育推進計画(第2次)に基づき、食をテーマに講演会を行い、食に対する正しい知識を持ち、食生活や食習慣改善の手立てを学び、市民自らが健康の保持・増進を図れるように働きかける。市民からのニーズもあり、今後も継続していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成28年3月に国の第3次食育推進計画、平成24年3月に第2次大阪府食育推進計画が策定されており、今後も、食育の推進を図る必要がある。

事務事業評価調書

事務事業名	健康被害調査委員会事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和23年度	改正内容	平成28年10月1日付けで、定期予防接種にB型肝炎を追加。											
(2)	直近の改正	平成28年度													
(3)	根拠法令等	予防接種法、吹田市予防接種健康被害調査委員会規則													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	予防接種健康被害者												
		目標(どういう状態にしたいのか)	予防接種による健康被害の発生について医学的見地から調査を行う。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	調査された資料を国へ報告。													
(7)	事業概要	吹田市が実施する予防接種による健康被害を受けた本人やその保護者から、本市に申請があった場合、調査委員会を開く。													
(8)	H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	03	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		246	0	246	0	123							
		人件費	職員数	人	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10						
			総額(B)	千円	836	0	817	0	806						
		総事業費(A+B)		1,082	0	1,063	0	929							
		特定財源(C)		184	0	184	0	92							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	184	0	184	0	92							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		898	0	879	0	837							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	898		0	879	0	837									
財源計(C+D)		1,082	0	1,063	0	929									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	吹田市が実施する予防接種による健康被害を受けた本人やその保護者から、本市に申請があった場合、調査委員会を開く。		目標	予防接種による健康被害の発生について医学的見地から調査を行う。	
	②	成果内容	調査された資料を国へ報告。		達成状況	平成28年度は健康被害調査委員会の開催実績無し。前回は平成25年度に開催。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		定期予防接種により健康被害を受けた本人又はその保護者から当該申請があった場合には、予防接種健康被害調査委員会を開催する必要があり、今後も予防接種法に追加されていく定期予防接種による健康被害においても当委員会を開催する必要があるため、今後も継続して事業を実施するべきである。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	健康被害調査委員会事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00575				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保健センター	事務事業番号	00575
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>今後も、予防接種法による定期予防接種が追加されていく見込みであり、予防接種健康被害調査委員会事業の必要性は極めて大きいと考える。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

予防接種法の改正により、平成28年10月からB型肝炎ワクチンが定期予防接種に含まれた。
 定期予防接種により健康被害を受けた本人又はその保護者から当該申請があった場合には、予防接種健康被害調査委員会を開催する必要があり、今後も予防接種法に追加されていく定期予防接種による健康被害においても当委員会を開催する必要があるため、今後も継続して事業を実施すべきである。

事務事業評価調書

事務事業名	予防接種事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和23年度	改正内容	平成28年10月1日付で、定期予防接種にB型肝炎を追加。											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	予防接種法、吹田市予防接種事業実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
	一部にチェックした場合はその説明		MRワクチン1期2歳から5歳未満でMRワクチン1期未接種者 MRワクチン2期小学校就学後7歳6か月未満でMRワクチン2期未接種者											
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
		範囲等	定期の予防接種に定める年齢											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	予防接種の実施によって伝染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	公衆衛生の向上及び増進が図られる。												
(7) 事業概要	予防接種法で定められた伝染のおそれのあるA類疾病(ジフテリア、破傷風、百日せき、ポリオ、麻しん、風しん、日本脳炎、結核、ヒトパピローマウイルス・インフルエンザ菌b型・小児肺炎球菌・水痘・B型肝炎)及び、B類疾病(高齢者インフルエンザ・高齢者肺炎球菌)の予防接種を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	03	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		794,113	826,484	847,903	885,666	950,289							
	人件費	職員数	人	2.50	2.60	2.50	2.60	3.00						
		総額(B)	千円	20,880	20,902	20,425	20,540	24,156						
	総事業費(A+B)		814,993	847,386	868,328	906,206	974,445							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	5,972	40,963						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	5,972	40,963						
	(内訳)	市負担(D)		814,993	847,386	868,328	900,234	933,482						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		814,993	847,386	868,328	900,234	933,482						
財源計(C+D)		814,993	847,386	868,328	906,206	974,445								
(10) (該当するものは全部チェック)	実施方法		委託先		① 一般社団法人 吹田市医師会									
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託		主な委託内容		② 一般社団法人 摂津市医師会									
					③ 上記以外の高齢者介護施設及び医療機関									
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金		交付先		①									
	<input type="checkbox"/> その他		内容		②									

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 定期予防接種(A類疾病)の接種者数	目標値	(単位:件)	73,658.00	73,882.00	86,382.00	
			実績値	(単位:件)	74,442.00	81,802.00		
			達成度(%)		101.1	110.7		
	②	目標値の積算方法 予防接種対象者数(当初予算積算件数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	11.38	11.09		
				一般財源(単位:千円)	11.38	11.01		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
		②	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
一般財源(単位:千円)					0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
③		活動内容	目標					
			達成状況	疾病の発生及びまん延の予防についての達成状況を測定する代表的な指標設定は困難。				
			本事業の実施によって接種率は高水準で推移しており、A類疾病及びB類疾病の発生及びまん延の予防に効果が得られていると考える。					
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	<p>国は、予防接種法に基づく定期の予防接種の種類を拡充していく方針であるが、それに伴う自治体の財政負担軽減のための十分な財政支援策を講じるまでには至っていない。</p> <p>本市においても、今後も接種率の向上に努めること、また、予防接種法による定期の予防接種が拡充された場合には、本事業も併せて拡充を図ることが必要であるが、それに伴う財源確保が課題となっている。</p> <p>また、市外で定期予防接種を受けた市民については、接種費用を本人が自己負担しているが、接種費用の負担の不公平を解消するため、償還払いの実施を検討している。あわせて、他市民が本市で接種を受けた場合の接種費用については、接種本人が負担する方法への変更を検討している。</p>						

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	予防接種事業	事業区分	その他
事務事業番号	00576				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保健センター	事務事業番号	00576
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>今後も、予防接種法による定期予防接種が追加されていく見込みであり、予防接種事業の必要性は極めて大きいと考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

予防接種法の改正により、平成28年10月からB型肝炎ワクチンが定期予防接種に含まれた。
 定期予防接種により健康被害を受けた本人又はその保護者から当該申請があった場合には、予防接種健康被害調査委員会を開催する必要があり、今後も予防接種法に追加されていく定期予防接種による健康被害においても当委員会を開催する必要があるため、今後も継続して事業を実施すべきである。

事務事業評価調書

事務事業名	予防接種健康被害補償事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和23年度	改正内容	平成28年10月1日付けで、定期予防接種にB型肝炎を追加。											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	予防接種法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	予防接種法により健康被害と認定された者又はその養育者											
	結果(どのような効果が得られるのか)	予防接種法により健康被害と認定された者又はその養育者に対して給付を行う。												
	予防接種法により健康被害と認定された者又はその養育者が救済される。													
(7) 事業概要	予防接種法に定める予防接種による健康被害と認定された者に対し、医療費・医療手当、障害年金等を支給する。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	03	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		9,448	8,802	9,658	8,992	9,731							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10							
		総額(B)	千円	836	804	817	790							
	総事業費(A+B)		10,284	9,606	10,475	9,782	10,537							
	特定財源(C)		7,086	6,601	7,243	7,427	7,297							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	7,086	6,601	7,243	7,427	7,297							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		3,198	3,005	3,232	2,355	3,240							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
		一般財源	3,198	3,005	3,232	2,355	3,240							
財源計(C+D)		10,284	9,606	10,475	9,782	10,537								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 予防接種健康被害認定者数	目標値	(単位:人)	3.00	3.00	/
			実績値	(単位:人)	4.00	3.00	
			達成度(%)		133.3	100.0	
	目標値の積算方法	予防接種健康被害補償対象者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,401.50	3,269.67	
				一般財源(単位:千円)	751.25	794.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 予防接種健康被害救済給付の受給者数	目標値	(単位:人)	3.00	3.00	/
			実績値	(単位:人)	4.00	3.00	
			達成度(%)		133.3	100.0	
	目標値の積算方法	予防接種健康被害補償対象者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,401.50	3,269.67	
				一般財源(単位:千円)	751.25	794.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		予防接種法に基づく予防接種による健康被害と認定された者又はその養育者に対して、その補償として医療費や年金等を支給することで救済措置を行うものであって、法により実施が義務付けられているため、今後も事業を継続していくことが重要である。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	予防接種健康被害補償事業	事業区分	その他
事務事業番号	00577				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00577
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

予防接種法に基づく予防接種による健康被害と認定された者又はその養育者に対して、その補償として医療費や年金等を支給することで救済措置を行うものであって、法により実施が義務付けられているため、今後も事業を継続していくことが重要である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>今後も、予防接種法による定期予防接種が追加されていく見込みであり、予防接種被害補償事業の必要性は極めて大きいと考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

予防接種法の改正により、平成28年10月からB型肝炎ワクチンが定期予防接種に含まれた。定期予防接種により健康被害の認定を受けた者に対する補償として医療費や年金等を支給することで救済措置を行うものであって、法により実施が義務付けられているため、今後も継続して事業を実施すべきである。

事務事業評価調書

事務事業名	結核検診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和26年度	改正 内容	結核予防法が廃止され、感染症に含まれた											
(2)	直近の改正	平成17年度													
(3)	根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	65歳以上の市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	結核の早期発見、予防を行い、市民の健康保持を図る												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	結核の予防及び成人保健の向上													
(7)	事業概要	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核の早期発見、早期予防及び結核の蔓延予防を目的に、市内協力医療機関での個別無料検診として胸部エックス線直接撮影を実施している。 検診料は無料。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	04	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		37,998	38,815	44,500	37,558	40,469							
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	1.50	1.50	1.50						
			総額(B)	千円	4,176	4,020	12,255	11,850	12,078						
		総事業費(A+B)		42,174	42,835	56,755	49,408	52,547							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		42,174	42,835	56,755	49,408	52,547							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			42,174	42,835	56,755	49,408	52,547								
財源計(C+D)		42,174	42,835	56,755	49,408	52,547									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人吹田市医師会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	検診協力医療機関数	目標値	(単位:件)	153.00	156.00	154.00
			実績値	(単位:件)	156.00	154.00	/	
		達成度(%)				102.0		98.7
	目標値の積算方法	前年度の検診協力医療機関数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		274.58		323.46
				一般財源(単位:千円)		274.58	323.46	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	受診者数(平成28年度実績は2月分まで)	目標値	(単位:人)	19,200.00	22,500.00
	実績値			(単位:人)	19,651.00	17,188.00	/	
	達成度(%)				102.3	76.4		
	目標値の積算方法	予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2.18		2.90
				一般財源(単位:千円)		2.18	2.90	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容					達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により実施が義務づけられている検診である。特に高齢者については、かかりつけ医による結核検診が、感染・発病の早期発見のためには重要である。医師会に委託している現在の検診体制は継続していく必要があると考えている。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	結核検診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00578				

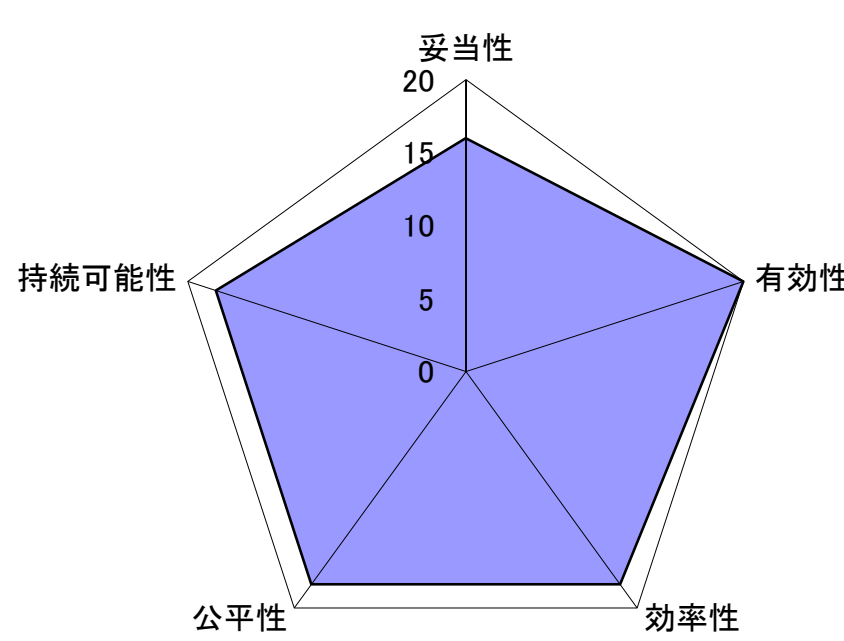
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00578
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により実施が義務づけられている検診である。受診者数も増加しており、市民ニーズおよび実施の必要性も高い検診である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	南千里分館管理事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成24年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	吹田市立保健センター条例							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節 06	細節 20				
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他	範囲等 保健センター南千里分館(保健センター南千里分館利用者)					
		目標 (どういう状態にしたいのか)	保健センター南千里分館運営を円滑に行う。						
		結果 (どのような効果が得られるのか)	各健診受診者等が保健センター南千里分館を有効に利用することができ、健康維持・増進を図ることができる。						
(7)	事業概要	千里ニュータウンプラザ内の保健センター南千里分館の円滑な運営に必要な経費の執行を行う。(平成24年9月～)							
(8)	H28事業別 予算コード	会計 01	款 04	項 01	目 14	大事業 04	中事業 01	小事業 01	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		2,137	2,022	2,074	2,240	2,080	
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
			総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611
		総事業費(A+B)		3,808	3,630	3,708	3,820	3,691	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国	0	0	0	0	0	
			府	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
		市負担(D)		3,808	3,630	3,708	3,820	3,691	
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
その他	0		0	0	0	0			
一般財源	3,808		3,630	3,708	3,820	3,691			
財源計(C+D)		3,808	3,630	3,708	3,820	3,691			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	円滑な運営に必要な経費の執行を行う。			目標	各種検診等を実施するための円滑な運営管理を行う。
	②	成果内容	円滑な運営が図られる。			達成状況	各種検診の受診等により健康維持・増進を図ることができる。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市民の健康維持・増進を図るために運営に係る経費を適切に執行し、円滑な運営を行っていくことが今後も必要である。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	南千里分館管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00580				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保健センター	事務事業番号	00580
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>保健センター南千里分館の円滑な運営により各種健診受診者等が有効に利用することができ、市民の健康維持・増進が図られている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業				
担当部署	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正内容	なし					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	吹田市立保健センター条例							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章 03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節 06	細節 20				
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
	範囲等	保健センター南千里分館						
	目標 (どういう状態にしたいのか)	効率的で適正な施設維持管理により各種健診受診者等に快適な施設環境を提供する。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	快適な施設環境により、受診者等の健康維持・増進を図ることができる。						
(7) 事業概要	千里ニュータウンプラザ内の各施設の面積案分により算出された保健センター南千里分館(口腔ケアセンターを含む。)に係る施設管理経費の負担により施設の維持管理を行う。(平成24年9月～)							
(8) H28事業別 予算コード	会計 01	款 04	項 01	目 14	大事業 04	中事業 01	小事業 02	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		57,164	55,719	57,471	56,130	54,502	
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
		総額(B)	千円	836	804	817	790	
	総事業費(A+B)		58,000	56,523	58,288	56,920	55,308	
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	
		国		0	0	0	0	
		府		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	(内訳)	市負担(D)		58,000	56,523	58,288	56,920	55,308
		地方債		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
一般財源		58,000	56,523	58,288	56,920	55,308		
財源計(C+D)		58,000	56,523	58,288	56,920	55,308		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田南千里PFI(株)				
			②					
	主な委託内容		保健センター南千里分館の維持管理業務					
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
②								
③								
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)		
(1) 活動指標	①	南千里分館(口腔ケアセンター含む。)面積 指標内容	目標値 (単位:平方メートル)	734.20	734.20	/	
			実績値 (単位:平方メートル)	734.20	734.20		
		達成度(%)	100.0	100.0			
	目標値の積算方法	千里ニュータウンプラザ内の各施設の面積	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	76.99		77.56
			一般財源(単位:千円)	76.99	77.56		
		達成度(%)	100.0	100.0			
(2) 成果指標	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値 (単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)	0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
		達成度(%)	0.0	0.0			
(3) が指標で場合を示す	①	指標内容	目標値 (単位:日)	366.00	365.00	/	
			実績値 (単位:日)	366.00	365.00		
		達成度(%)	100.0	100.0			
	目標値の積算方法	各年度の日数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	154.43		156.02
			一般財源(単位:千円)	154.43	156.02		
		達成度(%)	0.0	0.0			
(4) 総合評価	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値 (単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)	0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
		達成度(%)	0.0	0.0			
③	活動内容	目標					
	成果内容	達成状況					
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
評価の説明		市民の健康維持・増進を図るために施設の維持管理に係る経費を適切に執行し、今後も各種検診受診者等に快適な施設環境を提供することが必要である。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00581				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	77	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00581
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	各種健診受診者等に快適な施設環境を提供することにより、市民の健康維持・増進が図られている。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調査

事務事業名	がん検診事業				
担当部署	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和39年度	改正 内容	検診一部負担金の改定(胃がん・肺がん・子宮がん・乳がん)											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法、がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針、各がん検診実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6)	目 的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	胃がん検診は満35歳以上、肺がん及び大腸がん検診は満40歳以上、子宮がん検診は満20歳以上、乳がん検診(視触診)は満30~39歳、乳がん検診(視触診・マンモグラフィ併用)は満40歳以上の市民											
		結果 (どのような効果が得られるのか)	各種がん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳)を実施し、疾病の早期発見・早期治療と市民の健康保持・増進を図る。												
(7)	事業概要	<p>胃・肺・大腸がん検診は集団検診方式として、日時を定めて保健センターで実施。 肺・大腸・子宮・乳がん検診は、個別検診方式として市内協力医療機関にて実施。 【肺・大腸がんは集団方式と個別方式の両方で実施】 検診一部負担金は、胃がん検診1,000円、肺がん検診400円(喀痰検査を含む場合は900円)、大腸がん検診300円、子宮がん検診500円(体がん検診含む場合は1,000円)、乳がん検診(視触診)700円、乳がん検診(マンモグラフィ併用)1,000円。ただし、65歳以上、市民税非課税世帯及び生活保護受給世帯は一部負担金を免除。(事前申請が必要)</p>													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	15	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項 目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		264,177	287,322	356,467	289,698	365,217							
		人件費	職員数	人	4.50	4.50	5.00	5.00	6.00						
			総額(B)	千円	37,584	36,176	40,850	39,500	48,312						
		総事業費(A+B)		301,761	323,498	397,317	329,198	413,529							
		特定財源(C)		2,048	2,259	2,894	3,081	3,092							
		(内訳)	国		13	0	13	13							
			府		0	0	0	0							
			その他	2,048	2,246	2,894	3,068	3,079							
市負担(D)		299,713	321,239	394,423	326,117	410,437									
(内訳)	地方債		0	0	0	0									
	その他		0	0	0	0									
	一般財源	299,713	321,239	394,423	326,117	410,437									
財源計(C+D)		301,761	323,498	397,317	329,198	413,529									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施		委託先	① 一般社団法人吹田市医師会										
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託			② 財団法人大阪府保健医療財団										
					③										
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金		主な委託内容	各種がん検診業務										
				交付先	①										
<input type="checkbox"/> その他		内容	②												
			③												

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	① 指標内容 乳がん・子宮がん検診協力医療機関数	目標値	(単位:医療機関) 54.00	57.00	57.00	
		実績値	(単位:医療機関) 57.00	57.00		
		達成度(%)	105.6	100.0		
	目標値の積算方法 前年度の乳がん・子宮がん検診協力医療機関数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5,675.40	5,799.09	
			一般財源(単位:千円)	5,635.77	5,745.04	
	② 指標内容 胃・肺・大腸がん検診年間実施予定日数	指標内容	目標値	(単位:日) 60.00	73.00	72.00
実績値			(単位:日) 60.00	73.00		
達成度(%)			100.0	100.0		
目標値の積算方法 胃・肺・大腸がん検診年間実施日数		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5,391.63	4,528.05	
			一般財源(単位:千円)	5,353.98	4,485.85	
(2) 成果指標		① 指標内容 受診者数 (胃・肺・大腸・子宮・乳がんの合計) (平成28年度実績は2月分まで)	目標値	(単位:人) 66,628.00	87,501.00	85,211.00
	実績値		(単位:人) 73,781.00	69,257.00		
	達成度(%)		110.7	79.1		
	目標値の積算方法 予算積算人数 (胃・肺・大腸・子宮・乳がんの合計)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4.38	4.77	
			一般財源(単位:千円)	4.35	4.73	
	② 指標内容	指標内容	目標値	(単位:) 0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:) 0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00	
	(3) が指標で困難な場合	① 活動内容				目標
		② 成果内容				達成状況
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定				
	評価の説明	<p>健康増進法等に基づく各種がん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳がん)は、厚生労働省が定める「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき実施している。</p> <p>平成28年度の指針の改訂で、胃がん検診の対象年齢変更及び胃内視鏡検査の追加、乳がん視触診検診の取扱い等が変更されたことにより、吹田市においても平成29年度に胃内視鏡検査準備委員会を発足させる。今後は30歳代の乳がん視触診検診の廃止について検討の必要がある。</p> <p>また、はがきによる受診勧奨について効果検証を行い、継続の可否について検討する必要がある。</p>				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	がん検診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00584				

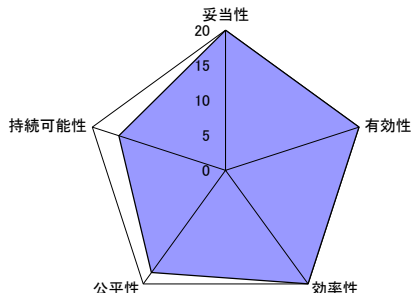
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
評価点合計 (100点満点)	94	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00584
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>健康増進法に基づく、胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がん検診は、厚生労働省が定める「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づいて実施している。胃がん検診以外のがん検診受診率は高い検診である。 胃がん検診については、平成28年2月に指針が一部改正となり、胃内視鏡検査導入が可能となっている。当市も実施に向けて検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	成人歯科健診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成7年度	改正内容	平成28年度より、75歳以上受診者には口腔機能検査を追加して実施。そのうち大阪府後期高齢者医療被保険者は大阪府後期高齢者医療広域連合より補助金交付あり。																	
(2) 直近の改正	平成28年度																			
(3) 根拠法令等	健康増進法、吹田市成人歯科健康診査実施要領、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例																			
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明		感染症予防事業費補助金あり																	
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他															
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	満30歳以上の市民(障がい者は満15歳以上)を対象に実施。																	
	結果 (どのような効果が得られるのか)	歯科疾患の早期発見、予防を図るために、受診率の向上を目指す。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)							歯科口腔保健の向上。												
(7) 事業概要	<p>歯科疾患の早期発見・予防を目的に、歯科健康診査及び歯面清掃を行う。 個別検診方式として、市内の協力医療機関にて実施。 健診一部負担金は無料。 75歳以上受診者には口腔機能検査を追加して実施。そのうち大阪府後期高齢者医療被保険者は大阪府後期高齢者医療広域連合より補助金交付あり。</p>																			
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	15	大	事	業	01	中	事	業	02	小	事	業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		130,199	122,297	132,527	120,673	128,986													
	人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.30												
		総額(B)	千円	8,352	8,039	8,170	7,900	10,468												
	総事業費(A+B)		138,551	130,336	140,697	128,573	139,454													
	特定財源(C)		3,824	3,783	17,564	17,564	14,256													
	(内訳)	国	0	0	0	0	0													
		府	3,824	3,783	4,517	4,517	3,049													
		その他	0	0	13,047	13,047	11,207													
	市負担(D)		134,727	126,553	123,133	111,009	125,198													
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0													
		その他	0	0	0	0	0													
一般財源		134,727	126,553	123,133	111,009	125,198														
財源計(C+D)		138,551	130,336	140,697	128,573	139,454														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人 吹田市歯科医師会																
			②																	
			③																	
	主な委託内容		成人歯科健診業務																	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																	
②																				
③																				
<input type="checkbox"/> その他		内容																		

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	成人歯科健康診査協力医療機関数	目標値	(単位:機関)	156.00	157.00	161.00	
			実績値	(単位:機関)	157.00	161.00		
			達成度(%)		100.6	102.5		
		目標値の積算方法	成人歯科健康診査協力医療機関数(年度当初)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	830.17	800.27	
				一般財源(単位:千円)	806.07	691.17		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	成人歯科健康診査受診者数(平成28年度実績は2月分まで)	目標値	(単位:人)	255,264.00	255,386.00	256,901.00	
			実績値	(単位:人)	22,674.00	18,267.00		
			達成度(%)		8.9	7.2		
		目標値の積算方法	成人歯科健康診査対象者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5.75	7.05	
				一般財源(単位:千円)	5.58	6.09		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		市民の歯科疾患の早期予防・早期発見をすることにより、健康保持・増進に繋げるためには、幅広い年齢層が受診できる制度である本事業が重要である。また、歯と口腔の健康づくり推進条例の基本的施策の中に、成人期(妊産婦である期間も含む)における歯周病及び歯の喪失の予防のために必要な施策とあり、まさしく本事業がその施策にあたるので、継続して実施していく必要がある。大阪府後期高齢者医療広域連合で加入者向けの歯科健診の実施を計画していることから、実施の場合は、事業の縮小の検討が必要となる。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	成人歯科健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00586				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18			
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00586
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>豊かな食生活を送るためには、歯や歯ぐきの健康は欠かせないものであり、そのためには歯科疾患の予防や早期発見が非常に重要である。また平成28年度から後期高齢者に導入された口腔機能検査により豊かな食生活を送るためには口腔機能の重要性についても多くの市民に啓発できた。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>平成26年度から、後期高齢者を対象とした歯科健診事業が国で予算化され、大阪府後期高齢者医療広域連合では平成27年度から試行的に市町村の歯科健診事業に補助をすることになっていた。本市では現在の成人歯科健診事業の対象者には後期高齢者も含まれているが、広域連合が定める事業内容にするには平成27年度からは開始できなかったが、平成28年度から実施しており、見込数以上の市民が受診した。なお本事業については、平成30年度より広域連合が府歯科医師会に委託する事業になる見込み。</p>

事務事業評価調書

事務事業名	在宅寝たきり高齢者等訪問歯科事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成6年度	改正内容	事務の負担軽減及び歯科医師の出務に係る報酬費や交通費の削減を図るため、歯科健診業務を歯科医師会に委託。											
(2)	直近の改正	平成19年度													
(3)	根拠法令等	吹田市寝たきり高齢者等訪問歯科事業実施要領、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	概ね65歳以上の在宅寝たきり高齢者等。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	在宅寝たきり高齢者等に対し、歯科医師の訪問による歯科健診を実施し、歯科疾患の早期発見と予防及び生活の質の向上を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	歯科口腔保健の向上。													
(7)	事業概要	概ね65歳以上の在宅寝たきり高齢者等に、歯科医師の訪問による歯科健診を実施。健診一部負担金は無料。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	15	大事業	01	中事業	03	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		8,762	8,586	9,002	8,140	8,617							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611						
		総事業費(A+B)		10,433	10,194	10,636	9,720	10,228							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		10,433	10,194	10,636	9,720	10,228							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			10,433	10,194	10,636	9,720	10,228								
財源計(C+D)		10,433	10,194	10,636	9,720	10,228									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人 吹田市歯科医師会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 在宅寝たきり高齢者等訪問歯科健診協力医療機関数	目標値	(単位:機関)	156.00	157.00	161.00
			実績値	(単位:機関)	157.00	161.00	/
		達成度(%)		100.6	102.5		
	目標値の積算方法 在宅寝たきり高齢者等訪問歯科健診協力医療機関数(年度当初)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	64.93	60.71		
			一般財源(単位:千円)	64.93	60.71		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容 在宅寝たきり高齢者等訪問歯科健診受診者	目標値	(単位:)	1,346.00	1,176.00
	実績値			(単位:)	213.00	194.00	/
	達成度(%)		15.8	16.5			
	目標値の積算方法 寝たきり高齢者数(75歳以上)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	47.86	50.38		
			一般財源(単位:千円)	47.86	50.38		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田市医療審議会の答申を受けて、平成6年度からスタートし、これまでに2度の見直しを行ってきたが、単位当たりのコストが高いため、見直し事業として挙げられていた。しかし、歯と口腔の健康づくり推進条例の基本的施策の中に、障がい者、介護を必要とする高齢者その他の者であって、定期的に歯科健診を受けること、または歯科医療を受けることが困難な者に対する支援のために、必要な施策とある。まさしく、本事業がその施策にあたるため、継続して実施していく必要がある。一方で近年、対象者の要件があいまいになっている傾向があり、制度の運用方法の見直しを検討している。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	在宅寝たきり高齢者等訪問歯科事業	事業区分	その他
事務事業番号	00587				

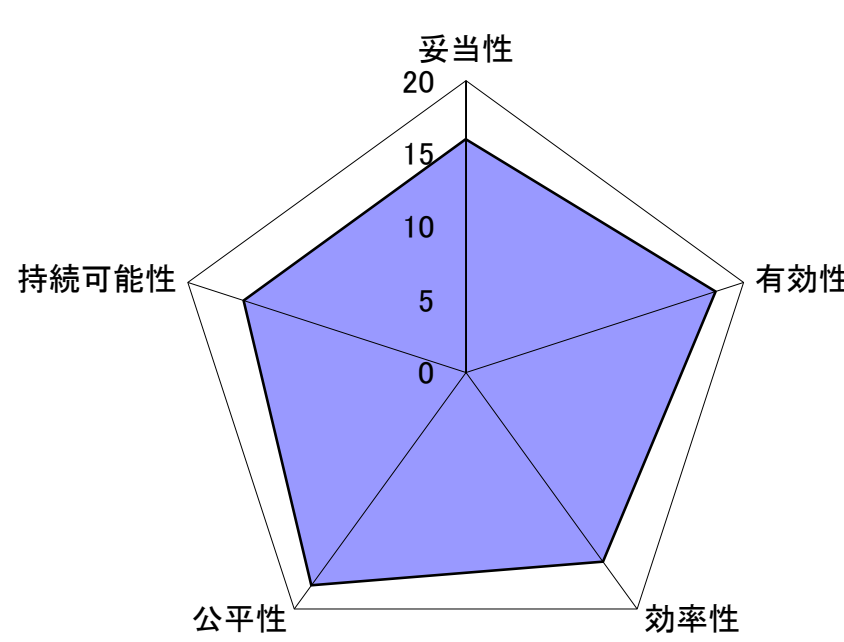
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00587
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>寝たきり高齢者や通院できない市民の歯科保健向上のためには、有効な事業であるが受診者が低下しており単位当たりのコストが高くなっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	骨粗しょう症検診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成6年度	改正内容	平成27年1月から対象年齢を満20歳以上70歳以下の5歳節目に対象年齢を変更。											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	健康増進法、吹田市骨粗しょう症検診事業実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
	一部にチェックした場合はその説明		感染症予防事業費府補助金あり											
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	満20歳以上70歳以下5歳節目の市民											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	成人保健の向上												
	骨折を予防し、寝たきりの予防と健康保持を図る。													
(7) 事業概要	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内協力医療機関で検診を実施し、疾病の早期発見と市民の健康保持を図っている。 検診一部負担金1,000円。ただし、65歳以上、市民税非課税世帯及び生活保護受給世帯は一部負担金を免除。(事前申請は必要)													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	15	大	01	中	04	小	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		16,279	11,267	17,418	9,064	11,395							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30							
		総額(B)	千円	2,506	2,412	2,451	2,370							
	総事業費(A+B)		18,785	13,679	19,869	11,434	13,811							
	特定財源(C)		4,261	3,660	4,630	4,630	2,882							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	4,261	3,660	4,630	4,630	2,882							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		14,524	10,019	15,239	6,804	10,929							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		14,524	10,019	15,239	6,804	10,929								
財源計(C+D)		18,785	13,679	19,869	11,434	13,811								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 一般社団法人吹田市医師会											
			②											
			③											
	主な委託内容		検診業務											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 検診協力医療機関数	目標値	(単位:件)	112.00	116.00	119.00	
			実績値	(単位:件)	116.00	110.00	/	
		達成度(%)		103.6	94.8			
	目標値の積算方法 前年度の検診協力医療機関数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	117.92	104.68			
			一般財源(単位:千円)	86.37	62.59			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標		①	指標内容 受診者数 (平成28年度実績は2月分まで)	目標値	(単位:件)	3,465.00	3,650.00	2,450.00
	実績値			(単位:件)	2,416.00	1,944.00	/	
	達成度(%)			69.7	53.3			
	目標値の積算方法 予算積算人数		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5.66	5.92		
				一般財源(単位:千円)	4.15	3.54		
	②		指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
		実績値		(単位:)	0.00	0.00	/	
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
		(3) が困難な場合	①	活動内容				目標
	②		成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		寝たきりの原因である骨折を予防するためには、骨粗しょう症の早期発見・早期治療が重要であるが、より効果的な検診とするために平成27年1月から対象者の年齢の見直しを行い、上限を70歳までとした。そのため、平成26年度以降は受診者数が減少しているが、今後は、特に若年から中高年層への予防対策に力を入れていく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	骨粗しょう症検診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00588				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00588
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>寝たきりの原因にもなる骨折予防するためには、骨粗しょう症の早期発見、早期治療が重要である。平成27年1月から、対象者の年齢見直しを行い、上限を70歳までとしたことで、受診者数は減少している。若年者への受診勧奨が課題と考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	30歳代健康診査事業				
担当部署	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成20年度	改正内容	満40歳以上75歳未満の国民健康保険途中加入者について、特定健康診査(国民健康診査)対象となったため、30歳代健康診査の対象から移行																	
(2) 直近の改正	平成22年度																			
(3) 根拠法令等	健康増進法、吹田市30歳代健康診査実施要領																			
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)															
	一部にチェックした場合はその説明		感染症予防事業費府補助金あり																	
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20													
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他															
	範囲等	①満30歳以上39歳以下の市民 ②40歳以上の生活保護受給世帯の市民																		
	目標(どういう状態にしたいのか)	疾病の早期発見、生活習慣病の予防を行い、市民の健康保持を図る。																		
	結果(どのような効果が得られるのか)	成人保健の向上																		
(7) 事業概要	30歳健康診査を実施し、疾病の早期発見、生活習慣病の予防を行い、市民の健康保持を図る。個別検診方式として、市内の協力医療機関実施。 健診一部負担金は無料。																			
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	15	大	事	業	01	中	事	業	05	小	事	業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		42,156	37,901	52,162	54,559	59,864													
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.30	0.30	0.50												
		総額(B)	千円	4,176	4,020	2,451	2,370	4,026												
	総事業費(A+B)		46,332	41,921	54,613	56,929	63,890													
	特定財源(C)		1,115	1,779	2,613	0	3,326													
	(内訳)	国		0	0	0	0	0												
		府		1,115	1,779	2,613	0	3,326												
		その他		0	0	0	0	0												
	市負担(D)		45,217	40,142	52,000	56,929	60,564													
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0												
その他		0	0	0	0	0														
一般財源		45,217	40,142	52,000	56,929	60,564														
財源計(C+D)		46,332	41,921	54,613	56,929	63,890														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 一般社団法人吹田市医師会																	
			②																	
			③																	
	主な委託内容		健康診査業務																	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																		
		②																		
		③																		
<input type="checkbox"/> その他	内容																			

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 検診協力医療機関数	目標値	(単位:件)	171.00	175.00	175.00
			実績値	(単位:件)	175.00	175.00	
		達成度(%)				102.3	100.0
	目標値の積算方法 前年度の検診協力医療機関数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		239.55	325.77	
			一般財源(単位:千円)		229.38	325.77	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 受診者数	目標値	(単位:人)	4,010.00	4,836.00
	実績値			(単位:人)	3,602.00	5,127.00	
	達成度(%)				89.8	106.0	
	目標値の積算方法 予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		11.64	11.12	
			一般財源(単位:千円)		11.14	11.12	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		30歳代を対象とした健診は、法律等には基づいていないが、若年層の健診受診の機会となり、生活習慣病等の疾病の早期発見、早期治療、また健康の保持増進を図っていることから、継続して実施することが必要と考えている。しかし、受診者数は年々減少していたことから、平成28年度にはがきによる受診勧奨を行い、受診者数の増加につながった。平成29年度は引き続き受診勧奨を実施するとともに効果検証を行い、今後の継続の可否を検討する。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	30歳代健康診査事業	事業区分	その他
事務事業番号	00589				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18			
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00589
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>30歳～39歳の市民の健康状態を確認する機会となっている。健康の保持増進とともに、生活習慣病等の早期発見・早期治療を図ることができている。平成28年度からは、対象者全員にはがきによる受診勧奨を実施し、受診者数が増加した。</p> <p>また、40歳以上の生活保護受給者については、生活習慣病予防健診を実施している。従来は「申し出による年度内受診」であったが、平成28年度からは「誕生月健診」とし、対象者全員に受診票を郵送することで、受診者数が大幅に増加した。今後も継続して実施する。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	聴力検診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成16年度	改正内容	平成25年1月から、一部負担金として市民から500円を徴収。																	
(2) 直近の改正	平成24年度																			
(3) 根拠法令等	吹田市聴力検診実施要領																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)															
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他															
	範囲等	満50歳以上70歳以下の5歳節目の市民																		
	目標 (どういう状態にしたいのか)	疾病や障がいの早期発見を行い、早期治療につなげることで市民の健康保持を図る。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	成人保健の向上																		
(7) 事業概要	個別検診方式として、市内の協力医療機関で検診を実施し、疾病や障がいの早期発見を行い、早期治療につなげることで市民の健康保持を図っている。 検診一部負担金500円。ただし、65歳以上、市民税非課税世帯及び生活保護受給世帯は一部負担金を免除。(事前申請は必要)																			
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	15	大	事	業	01	中	事	業	06	小	事	業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		712	600	630	551	592													
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.10	0.10	0.25												
		総額(B)	千円	2,506	2,412	817	790	2,013												
	総事業費(A+B)		3,218	3,012	1,447	1,341	2,605													
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0												
		国		0	0	0	0	0												
		府		0	0	0	0	0												
		その他		0	0	0	0	0												
	(内訳)	市負担(D)		3,218	3,012	1,447	1,341	2,605												
		地方債		0	0	0	0	0												
		その他		0	0	0	0	0												
一般財源		3,218	3,012	1,447	1,341	2,605														
財源計(C+D)		3,218	3,012	1,447	1,341	2,605														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人吹田市医師会																
			②																	
			③																	
			主な委託内容	検診業務																
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																	
②																				
③																				
<input type="checkbox"/> その他		内容																		

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 検診協力医療機関数	目標値	(単位:件)	22.00	23.00	23.00
			実績値	(単位:件)	23.00	23.00	/
		達成度(%)		104.5	100.0		
	目標値の積算方法 前年度の検診協力医療機関数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	130.96	59.48		
			一般財源(単位:千円)	130.96	59.48		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 受診者数 (平成28年度実績は2月分まで)	目標値	(単位:件)	370.00	326.00
	実績値			(単位:件)	323.00	269.00	/
	達成度(%)		87.3	82.5			
	目標値の積算方法 予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	9.33	5.09		
			一般財源(単位:千円)	9.33	5.09		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	① 活動内容				目標		
	② 成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	中高年層の難聴等の早期発見の機会となっているが、根拠となる法令や通知等がなく、他市でもほとんど実施していない事業であるため、今後、吹田市医師会と調整を図りながら見直していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	聴力検診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00590				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00590
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>根拠となる法令・通知がなく、また受診者数も非常に少ないことから、今後見直していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	B型・C型肝炎ウイルス検診事業				
担当部署	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成14年度	改正 内容	平成25年1月から、一部負担金として市民から500円を徴収																	
(2) 直近の改正	平成24年度																			
(3) 根拠法令等	健康増進法、吹田市B型・C型肝炎ウイルス検診実施要領																			
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)															
	一部にチェックした場合はその説明		感染症予防事業費府補助金あり																	
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他															
	範囲等	満40歳の市民及び41歳以上で当該検診を未受診の市民																		
	目標 (どういう状態にしたいのか)	疾病の早期発見を行い、早期治療に繋げることで、市民の健康保持を図る。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	成人保健の向上																		
(7) 事業概要	個別検診方式として、市内の協力医療機関で実施し、疾病の早期発見、早期治療により市民の健康の保持を図る。 検診一部負担金500円。ただし、65歳以上、市民税非課税世帯及び生活保護受給世帯は一部負担金を免除。(事前申請は必要) 平成29年度から一部負担金を無料化した。																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	15	大	事	業	01	中	事	業	07	小	事	業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		5,301	5,075	5,763	4,123	5,892													
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30													
		総額(B)	千円	2,506	2,412	2,451	2,370													
	総事業費(A+B)		7,807	7,487	8,214	6,493	8,308													
	特定財源(C)		4,809	3,156	3,729	3,729	2,955													
	(内訳)	国	0	0	0	0	0													
		府	4,809	3,156	3,729	3,729	2,955													
		その他	0	0	0	0	0													
	市負担(D)		2,998	4,331	4,485	2,764	5,353													
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0													
		その他	0	0	0	0	0													
		一般財源	2,998	4,331	4,485	2,764	5,353													
財源計(C+D)		7,807	7,487	8,214	6,493	8,308														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人吹田市医師会																
			②																	
			③																	
	主な委託内容		検診業務																	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																	
②																				
③																				
<input type="checkbox"/> その他		内容																		

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	検診協力医療機関数	指標内容	目標値	(単位:件)	171.00	175.00	175.00
			実績値	(単位:件)	175.00	175.00		
			達成度(%)		102.3	100.0		
	②	前年度の検診協力医療機関数	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	42.78	37.57	
			一般財源(単位:千円)	24.75	16.26			
			達成度(%)		0.0	0.0		
(2) 成果指標	①	受診者数 (平成28年度実績は2月分まで)	指標内容	目標値	(単位:件)	2,500.00	2,765.00	2,464.00
			実績値	(単位:件)	2,384.00	1,913.00		
			達成度(%)		95.4	69.2		
	②	予算積算人数	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.14	3.44	
			一般財源(単位:千円)	1.82	1.49			
			達成度(%)		0.0	0.0		
(3) が困難な場合	①	活動内容	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	②	成果内容	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0		
(4) 総合評価	①	活動内容			目標			
	②	成果内容			達成状況			
		今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
		評価の説明	<p>市民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて受診し、保健指導を受けることによって肝炎による健康障害を防ぐためには必要な検診である。</p> <p>また国でも肝炎ウイルス検査の促進を進めており、本市でも受診率の向上に努めるため、平成29年度から自己負担金を無料とした。</p> <p>※国は、肝炎対策において、肝炎ウイルスに感染しているものの自覚のない人が多数存在すると推定しており、全ての国民が少なくとも1回は肝炎ウイルス検査をすることが必要であるとして、肝炎ウイルス検査の更なる促進を進めている。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	B型・C型肝炎ウイルス検診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00591				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00591
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市民が自身の感染を知り、必要に応じて治療・指導を受けることができ、肝炎による健康障がいを防ぐために必要な検診である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成28年6月に改正された「肝炎対策基本指針」のなかで、肝炎ウイルス検査を受けたことがない人が、できる限り早期に受検できるように、肝炎ウイルス検診のさらなる促進を図ることが重要と書かれている。市としても、一層受検しやすい環境を整備し、ウイルス性肝炎の早期発見に努める必要が高い状況であると考え、平成29年度から本検診を無料化する。

事務事業評価調書

事務事業名	ペプシノゲン胃検診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正内容	「胃がん検診(ペプシノゲン)」から「ペプシノゲン胃検診」に名称を変更														
(2) 直近の改正	平成20年度																
(3) 根拠法令等	吹田市ペプシノゲン胃検診実施要領																
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)												
	一部にチェックした場合はその説明																
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20										
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	満40歳以上65歳以下の5歳節目の市民														
	結果(どのような効果が得られるのか)	胃がんのハイリスク者を発見し、胃がんの早期発見、早期治療を行い、健康保持を図る。															
	成人保健の向上																
(7) 事業概要	個別検診方式として市内の協力医療機関で実施し、胃がんのハイリスク者を発見し、胃がんの早期発見、早期治療を行い、健康保持を図る。 検診一部負担金300円。ただし、65歳以上、市民税非課税世帯及び生活保護受給世帯は一部負担金を免除。(事前申請は必要)																
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	15	大	事業	01	中	事業	08	小	事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)										
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)										
	事業費(A)		2,979	2,241	2,914	1,752	2,587										
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30										
		総額(B)	千円	2,506	2,412	2,451	2,370										
	総事業費(A+B)		5,485	4,653	5,365	4,122	5,003										
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0										
		国		0	0	0	0										
		府		0	0	0	0										
	その他		0	0	0	0											
	(内訳)	市負担(D)		5,485	4,653	5,365	4,122										
		地方債		0	0	0	0										
		その他		0	0	0	0										
一般財源		5,485	4,653	5,365	4,122	5,003											
財源計(C+D)		5,485	4,653	5,365	4,122	5,003											
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人吹田市医師会													
			②														
			③														
	主な委託内容		検診業務														
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①														
②																	
③																	
<input type="checkbox"/> その他	内容																

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	市内の協力医療機関数	指標内容	目標値	(単位:件)	171.00	175.00	175.00
			実績値	(単位:件)	175.00	175.00		
			達成度(%)		102.3	100.0		
	目標値の積算方法	前年度の市内の協力医療機関数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	26.59	24.02		
				一般財源(単位:千円)	26.59	24.02		
	(2) 成果指標	②		指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が指標で場合示す		①	受診者数 (平成28年度実績は2月分まで)	指標内容	目標値	(単位:人)	2,650.00	2,592.00
	実績値			(単位:人)	2,045.00	1,572.00		
	達成度(%)			77.2	60.6			
	目標値の積算方法	予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2.28	2.67		
				一般財源(単位:千円)	2.28	2.67		
	②			指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容			目標				
	②	成果内容		達成状況				
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	ペプシノゲン胃検診は、胃がん死亡率減少効果は認められていないものの、毎年、がん患者が発見されている実態があり、胃がんの早期発見の機会としては必要な検診と考えている。						

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	ペブシノゲン胃検診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00592				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00592
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>がん検診の指針がなく、胃がんの死亡率の減少効果が認められる検診ではないが、毎年数名の胃がんが発見されている。今後、胃内視鏡検査の導入に伴い、胃がん検診体制とともに、本検診のあり方を見直す必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	吹田市健康長寿健診事業				
担当部署	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成21年度	改正 内容																		
(2) 直近の改正	なし																			
(3) 根拠法令等	吹田市健康長寿健診実施要領																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他															
		範囲等	市民のうち、満75歳以上の後期高齢者医療健康診査の受診者																	
	目標 (どういう状態にしたいのか)	疾病の早期発見と健康の保持を図る。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	成人保健の向上																		
(7) 事業概要	市民のうち、満75歳以上の後期高齢者医療健康診査の受診者を対象に、健康長寿健診として個別検診方式で、市内の協力医療機関で実施している。 検査は、貧血検査(赤血球・ヘモグロビン・白血球・血小板・ヘマトクリット)、生化学検査(総コレステロール・クレアチニン・尿酸)、心電図検査である。 健診一部負担金は無料。																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	15	大	事	業	01	中	事	業	09	小	事	業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項 目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		27,456	31,106	33,757	32,695	33,718													
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.50	0.50													
		総額(B)	千円	2,506	2,412	4,085	3,950													
	総事業費(A+B)		29,962	33,518	37,842	36,645	37,744													
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0													
		国		0	0	0	0													
		府		0	0	0	0													
	その他		0	0	0	0														
	(内訳)	市負担(D)		29,962	33,518	37,842	36,645	37,744												
		地方債		0	0	0	0													
		その他		0	0	0	0													
一般財源		29,962	33,518	37,842	36,645	37,744														
財源計(C+D)		29,962	33,518	37,842	36,645	37,744														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人 吹田市医師会																
			②																	
			③																	
	主な委託内容		健診業務																	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																	
②																				
③																				
<input type="checkbox"/> その他		内容																		

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 検診協力医療機関数	目標値	(単位:件)	171.00	175.00	175.00
			実績値	(単位:件)	175.00	175.00	
			達成度(%)		102.3	100.0	
	目標値の積算方法	前年度の検診協力医療機関数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	191.53	210.17	
				一般財源(単位:千円)	191.53	210.17	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 受診者数	目標値	(単位:人)	12,800.00	15,000.00	15,000.00
			実績値	(単位:人)	13,904.00	14,567.00	
			達成度(%)		108.6	97.1	
	目標値の積算方法	予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2.41	2.52	
				一般財源(単位:千円)	2.41	2.52	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		後期高齢者健診に含まれていない検査項目を追加し、検査を実施することは、高齢者の健康保持や増進には必要なことである。高齢者の疾病予防や、早期発見の機会になっていることから市民ニーズも高く、今後も継続して行く必要があると考えている。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	吹田市健康長寿健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00593				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00593
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>後期高齢者健診には含まれない心電図、総コレステロール値、貧血等の検査項目を追加し、国保健診と同様の検査項目としている。高齢者の健康の保持・増進、疾患の早期発見のために必要な検診であると考えられる。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	前立腺がん検診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成22年度	改正内容	平成25年1月から、一部負担金として700円を徴収																	
(2) 直近の改正	平成24年度																			
(3) 根拠法令等	吹田市前立腺がん検診実施要領																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他															
		範囲等	満50歳以上の男性市民																	
	目標 (どういう状態にしたいのか)	前立腺がん検診を実施し、疾病の早期発見と市民の健康保持を図る。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	成人保健の向上																		
(7) 事業概要	前立腺がん検診を実施し、疾病の早期発見と市民の健康保持を図る。 満50歳以上の男性市民を対象に、個別検診方式として市内の協力医療機関で実施。 検診一部負担金は700円。ただし、65歳以上、市民税非課税世帯及び生活保護受給世帯は一部負担金を免除。(事前申請が必要)																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	15	大	事	業	01	中	事	業	10	小	事	業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		26,225	26,342	27,016	23,095	28,411													
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.40	0.40													
		総額(B)	千円	2,506	2,412	3,268	3,160													
	総事業費(A+B)		28,731	28,754	30,284	26,255	31,632													
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0													
		国		0	0	0	0													
		府		0	0	0	0													
	その他		0	0	0	0														
	(内訳)	市負担(D)		28,731	28,754	30,284	26,255	31,632												
		地方債		0	0	0	0													
		その他		0	0	0	0													
一般財源		28,731	28,754	30,284	26,255	31,632														
財源計(C+D)		28,731	28,754	30,284	26,255	31,632														
(10) (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人吹田市医師会																
			②																	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																	
			②																	
③																				
<input type="checkbox"/> その他	内容																			

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 検診協力医療機関数	目標値	(単位:件)	171.00	175.00	175.00	
			実績値	(単位:件)	175.00	175.00		
		達成度(%)				102.3	100.0	
	目標値の積算方法	前年度の検診協力医療機関数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		164.31	150.65	
				一般財源(単位:千円)		164.31	150.65	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 受診者数 (平成28年度実績は2月分まで)	目標値	(単位:人)	9,000.00	9,200.00	9,640.00
	実績値			(単位:人)	8,984.00	7,834.00		
	達成度(%)				99.8	85.2		
	目標値の積算方法	予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.20	3.37	
				一般財源(単位:千円)		3.20	3.37	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	国のがん検診指針には含まれていない検診ではあるが、全国8割以上の市町村や、北摂各市でも実施されていることから、市民ニーズの高い検診である。検診の受診率等の向上のため、様々な検討を行いながら継続して実施していく考えである。						

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	前立腺がん検診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00594				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18			
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00594
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>がん検診の指針には含まれない検診であるが、全国的にも8割以上の市町村で実施され、北摂各市でも実施されている。受診者数も年々増加し、市民の関心も高いことから、市民ニーズは高いと考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	健康教育・相談事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和54年度	改正内容	根拠法令が老人保健法から健康増進法に変更																	
(2) 直近の改正	平成20年度																			
(3) 根拠法令等	健康増進法																			
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)															
	一部にチェックした場合はその説明		感染症予防事業費府補助金あり																	
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他															
		範囲等	満74歳以下の市民																	
	目標 (どうい状態にしたいのか)	健康についての自覚を高めるために、健康に関する知識の普及啓発に努める。また、心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行う。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	成人保健の向上																		
(7) 事業概要	自らの健康を守り、疾病の予防を目指すことを目的に生活習慣病予防、その他健康に関する事項について、健康教育・健康相談を実施し、適切な指導・助言を行う。																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	15	大	事	業	02	中	事	業	01	小	事	業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		1,064	1,291	1,166	1,540	1,144													
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00													
		総額(B)	千円	8,352	8,039	8,170	7,900													
	総事業費(A+B)		9,416	9,330	9,336	9,440	9,196													
	(内訳)	特定財源(C)		542	530	576	576													
		国		0	0	0	0													
		府		542	530	576	576													
	その他		0	0	0	0														
	(内訳)	市負担(D)		8,874	8,800	8,760	8,864													
		地方債		0	0	0	0													
		その他		0	0	0	0													
	一般財源		8,874	8,800	8,760	8,864	8,685													
財源計(C+D)		9,416	9,330	9,336	9,440	9,196														
(10) (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①																	
			②																	
			③																	
	主な委託内容																			
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																	
②																				
③																				
<input type="checkbox"/> その他	内容																			

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)		
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00					
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00					
(3) が困難な場合	① 活動内容	自らの健康を守り、疾病の予防を目指すことを目的に生活習慣病予防、その他健康に関する事項について、健康教育・健康相談を実施し、適切な指導・助言を行う。(各種健康教室・健康相談の実施)			目標	健康についての自覚を高めるために、健康に関する知識の普及啓発に努め、心身の健康に関することに必要な指導及び助言を行う。		
	② 成果内容	①健康教室延べ参加者数 ②健康相談延べ件数			達成状況	① 5733人 ② 2274人		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	<p>生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、また、心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管理に生かすために、今後も健康教育、健康相談の継続は必要であると考えている。健康教室の一部については、今後の市の方針も含めて、あり方を検討する。</p>						

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	健康教育・相談事業	事業区分	その他
事務事業番号	00595				

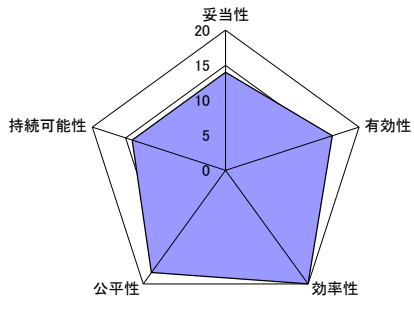
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00595
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>がんや生活習慣病予防等をテーマに、保健師、栄養士、歯科衛生士、体育指導員により、健康教育・健康相談を行い、市民が健康への関心が高められるよう働きかけている。 また、PTAや地域からの要請により、家庭教育学級や公民館等での出前講座も実施している。 地域に根ざした保健活動として、市民からのニーズもあり、今後も継続していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	口腔ケアセンター運営事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正内容	補助対象事業の見直しによる吹田市口腔ケア推進事業補助金交付要領の一部改正、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例の制定											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例、吹田市母子保健事業実施要領、吹田市口腔ケア推進事業補助金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	口腔ケアセンターを歯科口腔保健の活動推進の拠点として、市民の口腔機能の維持・改善等に関する説明、歯科口腔保健に関する情報の発信・展示等を行い、市民の口腔ケアに関する知識の知識の普及と啓発に努める。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の健康保持・増進及び歯科口腔保健の向上が図られる。												
(7) 事業概要	吹田市口腔ケアセンターの管理運営及び歯科口腔保健に関する情報の発信や展示を行う吹田市口腔ケア活動推進業務と、赤ちゃんの歯の広場業務を委託により実施。また、口腔ケア推進事業について補助を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	15	大事業	06	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		6,990	6,989	6,990	6,989	6,990							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10							
		総額(B)	千円	836	804	817	790							
	総事業費(A+B)		7,826	7,793	7,807	7,779	7,796							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		7,826	7,793	7,807	7,779							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		7,826	7,793	7,807	7,779	7,796								
財源計(C+D)		7,826	7,793	7,807	7,779	7,796								
(10) (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人吹田市歯科医師会										
			②											
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	一般社団法人吹田市歯科医師会										
			②											
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	活動内容	市民の口腔機能の維持・改善等に関する説明、歯科口腔保健に関する情報の発信・展示等を行い、市民の口腔ケアに関する知識の普及及び啓発に努める。		目標	市民の口腔ケアに関する知識の普及と啓発に努め、もって市民の健康保持・増進及び歯科口腔保健の向上を図る。
	②	成果内容	口腔ケアセンターの利用を機会に、市民一人ひとりが自身の口腔ケアについて考え、健康の保持・増進に取り組めるようになる。		達成状況	歯科口腔保健向上の達成状況を測定する代表的な指標設定は困難。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>歯科口腔保健の推進に関する法律(歯科口腔保健法)が平成23年8月に制定され、国民の歯や口腔の健康が質の高い生活を営むために重要であり、その実現のためには国民、国、地方公共団体、歯科医療従事者の連携が不可欠であると示された。</p> <p>また、本市においては、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例として、府内市町村では初となる歯科口腔保健の推進に関する条例を平成26年9月に制定した。</p> <p>本市においても、法及び条例の理念に基づき、市民の歯科口腔の健康状態の特性を分析及び把握し、更なる歯科口腔保健の推進を図る必要があると考える。</p>				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	口腔ケアセンター運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00599				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保健センター	事務事業番号	00599
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

歯科口腔保健の推進に関する法律(歯科口腔保健法)が平成23年8月に制定され、国民の歯や口腔の健康が質の高い生活を営むために重要であり、その実現のためには国民、国、地方公共団体、歯科医療従事者の連携が不可欠であると示された。また、本市においては、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例として府内市町村では初となる歯科口腔保健の推進に関する条例を平成26年9月に制定した。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>口腔ケアセンターの運営にあたっては、これまで本市の各種歯科健診の実施等、広く市民の歯科口腔保健に関する事業を市との連携により推進してきた実績のある一般社団法人吹田市歯科医師会を担い手とすることで、安心安全に業務を遂行できる体制づくりを整えている。平成25年度には、平成24年度(新規実施年度)の事業実績の分析及び補助金対象事業の整理について検討を行い、平成26年度からの事業内容に反映させている。今後も、効率的な事業運営を図ることを目的に、事業内容の改善等を検討していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

「歯科口腔保健の推進に関する法律(歯科口腔保健法)」が平成23年8月に制定され、国民の歯や口腔の健康が質の高い生活を営むために重要であり、その実現のためには国民、国、地方公共団体、歯科医療従事者の連携が不可欠であると示された。また、本市においては、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例として、府内市町村では初となる歯科口腔保健の推進に関する条例を平成26年9月に制定した。本市においても、法及び条例の理念に基づき、市民の歯科口腔の健康状態の特性を分析及び把握し、更なる歯科口腔保健の推進を図る必要があると考える。

事務事業評価調書

事務事業名	1歳6か月児健診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正内容	吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例を制定。																	
(2) 直近の改正	平成26年度																			
(3) 根拠法令等	母子保健法、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例、吹田市母子保健事業実施要領																			
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他															
	範囲等	生後1歳6か月から2歳を超えない幼児																		
	目標 (どうい状態にしたいのか)	健康診査により幼児の疾病や障がい早期に発見し、早期治療につなげる。また、育児相談を実施し、保護者の育児不安を解消し、虐待の発生予防・早期発見を図る。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。																		
(7) 事業概要	<p>幼児期において、身体の発育及び精神発達の面から重要な時期である1歳6か月児に対し、医師・歯科医師等による健康診査を実施し、その結果に基づいて専門職(保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士、発達指導員、保育士)による相談・指導を行う。内科健診は個別健診(委託)と集団健診(直営)で実施、歯科健診は集団健診(直営)のみで実施している。</p>																			
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	17	大	事	業	02	中	事	業	01	小	事	業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		19,592	19,104	19,786	19,667	19,563													
	人件費	職員数	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00													
		総額(B)	千円	25,056	24,117	24,510	23,700													
	総事業費(A+B)		44,648	43,221	44,296	43,367	43,719													
	(内訳)	特定財源(C)		5	5	5	4													
		国		0	0	0	0													
		府		0	0	0	0													
	その他		5	5	5	4	4													
	(内訳)	市負担(D)		44,643	43,216	44,291	43,363													
		地方債		0	0	0	0													
		その他		0	0	0	0													
一般財源		44,643	43,216	44,291	43,363	43,715														
財源計(C+D)		44,648	43,221	44,296	43,367	43,719														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人 吹田市医師会																
			②																	
			③																	
			主な委託内容	内科個別健診																
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																	
②																				
③																				
<input type="checkbox"/> その他		内容																		

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 集団健診の実施回数	目標値	(単位:回)	48.00	48.00	48.00	
			実績値	(単位:回)	48.00	48.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	年度当初実施予定回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		900.44	920.35	
				一般財源(単位:千円)		900.33	920.27	
	②	指標内容 個別内科健診実施医療機関数	目標値	(単位:機関)	56.00	50.00	50.00	
			実績値	(単位:機関)	56.00	50.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	個別内科健診実施医療機関数(年度当初)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		771.80	883.54	
				一般財源(単位:千円)		771.71	883.46	
(2) 成果指標	①	指標内容 内科健診受診児数	目標値	(単位:人)	3,462.00	3,774.00	3,500.00	
			実績値	(単位:人)	3,400.00	3,678.00		
			達成度(%)		98.2	97.5		
	目標値の積算方法	対象児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		12.71	12.01	
				一般財源(単位:千円)		12.71	12.01	
	②	指標内容 歯科健診受診児数	目標値	(単位:人)	3,462.00	3,774.00	3,500.00	
			実績値	(単位:人)	3,283.00	3,574.00		
			達成度(%)		94.8	94.7		
	目標値の積算方法	対象児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		13.17	12.36	
				一般財源(単位:千円)		13.16	12.36	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>母子保健法に基づく事業のため、継続して実施する必要がある。 受診率は年々向上しているが、児童虐待および居所不明児童の対応のために、「大阪府における乳幼児健診未受診児ガイドライン」に基づき平成27年度から体制を強化し、未受診児訪問の実施及び関係機関との連携を図り、全数把握に努めている。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	1歳6か月児健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00600				

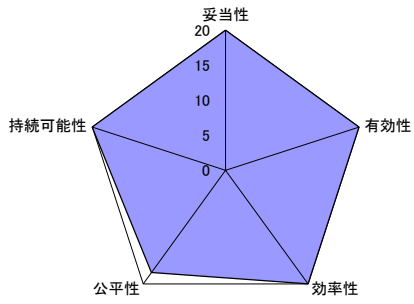
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00600
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>受診率は毎年、内科健診が97%、歯科健診94%を超えていることから市民のニーズとも一致していると考えられる。</p> <p>本健診は、歩行や発語など身体面・精神面の発達の節目に行う総合的な健診として重要であり、必要に応じて二次健診や精密検査等を紹介し早期治療・早期療育につながっている。また養育面の支援が必要な場合は、保健師による個別フォローや児童部と連携して育児教室等につなぐなど、育児不安等の解消、虐待の未然防止を図っている。また集団健診会場では、地域の子育て支援サービス等の育児情報の提供を行い情報発信の役割も果たしている。健診未受診児の全数把握も行っており児童虐待防止にも寄与している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

大阪府から要望のあった、発達障がい早期発見、早期支援を目的とした乳幼児健診の間診項目の改訂と、厚生労働省から通知のあった「健やか親子21第2次計画」の評価指標としての全国統一の間診項目の追加を、本市でも平成28年3月から導入し実施している。今後は間診項目の改訂後の評価や分析が必要である。

事務事業評価調書

事務事業名	2歳6か月児歯科健診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成9年度	改正 内容	吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例を制定。											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	母子保健法、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例、吹田市母子保健事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	生後2歳6か月から3歳を超えない幼児												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	幼児に対して歯科健康診査を行うう蝕の早期発見・早期治療を図るとともに、歯科保健指導を行い、う蝕予防に努める。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。													
(7)	事業概要	2歳6か月児を対象に口腔内診査、カリオスタット検査、歯科保健指導、その他口腔に関する相談・指導を行う。う蝕が発見された場合は治療勧奨する。また、保健師も出務し育児相談をはじめ、総合的な支援を行っている。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	17	大事業	02	中事業	02	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		6,555	6,172	6,628	6,242	6,690							
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	4,176	4,020	4,085	3,950	4,026						
		総事業費(A+B)		10,731	10,192	10,713	10,192	10,716							
		特定財源(C)		11	0	11	0	9							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	11	0	11	0	9							
		市負担(D)		10,720	10,192	10,702	10,192	10,707							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	10,720		10,192	10,702	10,192	10,707									
財源計(C+D)		10,731	10,192	10,713	10,192	10,716									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 2歳6か月児歯科健診実施回数	目標値	(単位:人)	36.00	36.00	36.00
			実績値	(単位:人)	36.00	36.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 2歳6か月児歯科健診実施予定回数(年度当初)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		283.11	286.86	
			一般財源(単位:千円)		283.11	286.86	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 2歳6か月児歯科健診受診児数	目標値	(単位:人)	3,486.00	3,552.00
	実績値			(単位:人)	2,753.00	2,934.00	
	達成度(%)			79.0	82.6		
	目標値の積算方法 2歳6か月児歯科健診対象児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.70	3.52	
			一般財源(単位:千円)		3.70	3.52	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		母子保健法に基づき実施している事業であり、「吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例」の第8条基本的施策において、乳幼児期におけるむし歯予防及び食育の支援のために必要な施策を行うとされており、本事業を継続して実施する必要がある。今後もさらなる受診率の向上に努める必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	2歳6か月児歯科健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00601				

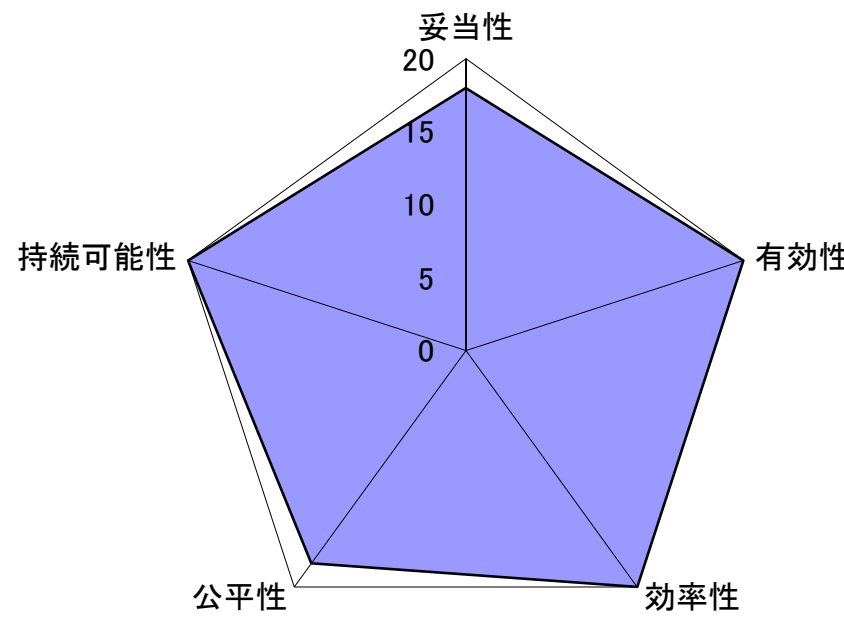
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00601
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>う蝕罹患者が増加する3歳前にう蝕予防への意識づけが強化できるとともに、う蝕の早期発見、早期治療につなげている。また、保健師が出務しているため歯科以外の相談にも対応できている。受診率が向上しており、歯科保健の意識が高まっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	3歳児健診事業				
担当部署	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成9年度	改正内容	吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例を制定。																	
(2) 直近の改正	平成26年度																			
(3) 根拠法令等	母子保健法、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例、吹田市母子保健事業実施要領																			
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他															
	範囲等	生後3歳から4歳を超えない幼児																		
	目標 (どうい状態にしたいのか)	健康診査により幼児の疾病や障がい早期に発見し、早期治療につなげる。また、育児相談を実施し、保護者の育児不安を解消し、虐待の発生予防・早期発見を図る。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。																		
(7) 事業概要	<p>幼児期において、身体の発育及び精神発達の面から重要な時期である3歳児に対し、医師・歯科医師による健康診査を実施し、その結果に基づいて専門職(保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士、発達指導員、保育士)による相談・指導を行う。なお、内科健診は3歳3か月の時期に、歯科健診は3歳6か月の時期に案内を行っている。</p> <p>内科健診は個別健診(委託)と集団健診(直営)で実施、歯科健診は集団健診(直営)のみで実施している。</p>																			
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	17	大	事	業	02	中	事	業	03	小	事	業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		21,722	21,648	22,119	21,100	22,655													
	人件費	職員数	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00													
		総額(B)	千円	25,056	24,117	24,510	23,700													
	総事業費(A+B)		46,778	45,765	46,629	44,800	46,811													
	(内訳)	特定財源(C)		5	4	5	3													
		国		0	0	0	0													
		府		0	0	0	0													
	その他		5	4	5	3	4													
	(内訳)	市負担(D)		46,773	45,761	46,624	44,797													
		地方債		0	0	0	0													
		その他		0	0	0	0													
一般財源		46,773	45,761	46,624	44,797	46,807														
財源計(C+D)		46,778	45,765	46,629	44,800	46,811														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人 吹田市医師会																
			②																	
			③																	
	主な委託内容		内科個別健診																	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																	
②																				
③																				
<input type="checkbox"/> その他	内容																			

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	集団健診の実施回数	指標内容	目標値	(単位:回)	48.00	48.00	48.00
			実績値	(単位:回)	48.00	48.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	年度当初実施予定回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	953.44	950.21		
				一般財源(単位:千円)	953.35	950.15		
				達成度(%)		100.0	100.0	
②	指標内容	個別内科健診実施医療機関数	目標値	(単位:機関)	56.00	50.00	50.00	
			実績値	(単位:機関)	56.00	50.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	個別内科健診実施医療機関数(年度当初)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	817.23	912.20		
				一般財源(単位:千円)	817.16	912.14		
				達成度(%)		100.0	100.0	
(2) 成果指標	①	内科健診受診児数	指標内容	目標値	(単位:人)	3,595.00	3,577.00	3,500.00
			実績値	(単位:人)	3,242.00	3,314.00		
			達成度(%)		90.2	92.6		
			目標値の積算方法	対象児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	14.12	13.76
	一般財源(単位:千円)	14.12				13.76		
	②	歯科健診受診児数	指標内容	目標値	(単位:人)	3,595.00	3,577.00	3,500.00
				実績値	(単位:人)	3,081.00	3,115.00	
				達成度(%)		85.7	87.1	
目標値の積算方法				対象児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	14.85	14.64
	一般財源(単位:千円)	14.85	14.64					
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>母子保健法に基づく事業のため、継続して実施する必要がある。 児童虐待と居所不明児童の対応のために「大阪府における乳幼児健診未受診児ガイドライン」に基づき、平成27年度から体制強化をし、未受診訪問の実施及び関係機関との連携を図り全数把握に努めている。本健診は就学前に受診する最後の乳幼児健診であるため、発達障がい等の発見および必要な支援につなぐ大きな役割を持っているため、受診率の向上に努めるとともに、健診の質を保つよう努めていきたい。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	3歳児健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00602				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00602
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>受診率は内科健診、歯科健診とも平成27年度より約2%上がっており、特に内科健診は92%を超えていることから、市民のニーズとも一致していると考えます。この時期の健診は、視聴覚の疾病や発達障がい等を早期発見するために重要であり、必要に応じて二次健診や精密検査等を紹介し早期治療につながっている。また発達面の支援が必要な場合は、二次健診等を通じて早期療育につなぎ、一定の役割を果たしているものと考えます。また集団健診会場では、地域の子育て支援サービス等の育児情報の提供を行い情報発信の役割も果たしている。健診未受診児の全数把握も行っており児童虐待防止にも寄与している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

大阪府から要望のあった、発達障がいの早期発見、早期支援を目的とした乳幼児健診の間診項目の改訂と、厚生労働省から通知のあった「健やか親子21第2次計画」の評価指標としての全国統一の間診項目の追加を、本市でも平成28年3月から導入し実施している。今後は間診項目の改訂後の評価や分析が必要である。

事務事業評価調書

事務事業名	4か月児健診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成9年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	母子保健法、吹田市母子保健事業実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	生後4か月から6か月を超えない乳児											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	乳児に対して健康診査を行い疾病や障がいの早期発見・早期治療を図るとともに、育児上の悩みや不安の軽減を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。												
(7) 事業概要	乳児期の大切な節目である4か月児に対し、疾病の早期発見と発育、発達状態の確認等を目的に身近な医療機関での健康診査を実施するとともに、育児・栄養・発達等についての保健指導や、グループワークをととして親同士のつながりを図ることにより育児不安を解消し、健全な子育てができるように支援の場を設ける。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	17	大事業	02	中事業	04	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		21,350	22,976	22,527	22,448	23,238							
	人件費	職員数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00						
		総額(B)	千円	16,704	16,078	16,340	15,800	16,104						
	総事業費(A+B)		38,054	39,054	38,867	38,248	39,342							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		38,054	39,054	38,867	38,248	39,342						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		38,054	39,054	38,867	38,248	39,342						
財源計(C+D)		38,054	39,054	38,867	38,248	39,342								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人 吹田市医師会										
			②											
			③											
			主な委託内容	4か月児健康診査業務										
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	健康実施医療機関数	目標値	(単位:機関)	56.00	50.00	50.00
			実績値	(単位:機関)	56.00	50.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	健康実施医療機関数(年度当初)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		697.39	775.76
				一般財源(単位:千円)		697.39	775.76
	(2) 成果指標	②	すくすく赤ちゃんクラブ実施回数	目標値	(単位:回)	120.00	120.00
実績値				(単位:回)	120.00	120.00	
達成度(%)				100.0	100.0		
目標値の積算方法		すくすく赤ちゃんクラブ実施予定回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		325.45	323.23
				一般財源(単位:千円)		325.45	323.23
(3) が困難な場合		①	4か月児健診受診児数	目標値	(単位:人)	3,529.00	3,456.00
	実績値			(単位:人)	3,461.00	3,388.00	
	達成度(%)			98.1	98.0		
	目標値の積算方法	4か月児対象児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		11.28	11.45
				一般財源(単位:千円)		11.28	11.45
	②	すくすく赤ちゃんクラブ来所者数	目標値	(単位:)	3,529.00	3,456.00	3,500.00
実績値			(単位:)	2,068.00	2,044.00		
達成度(%)			58.6	59.1			
目標値の積算方法	4か月児健診対象児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		18.88	18.98	
			一般財源(単位:千円)		18.88	18.98	
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	母子保健法に基づく事業のため、継続して実施する必要がある。 児童虐待と居所不明児童の対応のために、「大阪府における乳幼児健診未受診児ガイドライン」に基づき、平成27年度から体制を強化し、未受診訪問の実施および関係機関との連携を図り全数把握に努めている。生後4か月頃の児は発育や発達の成長がめざましいためその確認が必要であり、また夜泣き等が出てくる時期でもあるので保護者の育児不安が高まる時期でもある。健診や相談で初期対応することはその後の養育にも影響を及ぼすため重要である。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	4か月児健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00603				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00603
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>受診率は98%と非常に高く市民のニーズと一致していると考え。本健診は股関節の異常や、運動発達の遅れ、発育増加不良等を、早期に把握するために重要な健診であり、実施医療機関との連携体制を整え、経過観察健診や療育機関等へつなぐなど重要な役割を果たしている。</p> <p>また、本健診の保健指導事業のすくすく赤ちゃんクラブは、身近な市民ホール等で実施することで参加者は年々増加している。育児に関する助言や相談などを行うことで育児不安の軽減を図るとともに、参加者同士の交流や地域の子育て支援情報の提供を行い、地域での孤立を防ぎ、虐待の未然防止及び、健全育成の面でも大きな役割を担っている。健診未受診児の全数把握も行っており、児童虐待防止にも寄与している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

厚生労働省から通知のあった「健やか親子21第2次計画」の評価指標としての全国統一の問診項目の追加を、本市でも平成28年3月から導入し実施している。今後は問診項目の改訂後の評価や分析が必要である。

事務事業評価調書

事務事業名	妊婦・乳児一般・乳児後期健診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成9年度	改正 内容	妊婦健康診査公費負担額の拡充。(全14回合計62,600円から101,560円に公費負担を拡充)											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	母子保健法、吹田市母子保健事業実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	(妊婦健診)妊婦 (乳児一般健診)乳児(乳児後期健診)生後9か月から1歳を超えない乳児												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	妊婦・乳児に対して健康診査を行い疾病や障がいの早期発見を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。												
(7) 事業概要	妊婦・乳児に対して疾病等を早期に発見し、相談指導及び支援を行うことを目的として医療機関で健康診査を実施する。 (大阪府内の協力医療機関にて実施)													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	17	大事業	02	中事業	05	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		343,713	355,128	357,880	357,746	356,532							
	人件費	職員数	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00							
		総額(B)	16,704	16,078	16,340	15,800	16,104							
	総事業費(A+B)		360,417	371,206	374,220	373,546	372,636							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		360,417	371,206	374,220	373,546							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		360,417	371,206	374,220	373,546	372,636								
財源計(C+D)		360,417	371,206	374,220	373,546	372,636								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 一般社団法人 大阪府医師会											
			② 一般社団法人 大阪府助産師会											
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	① 大阪府外で妊婦健康診査を受診した者											
			②											
<input type="checkbox"/> その他														
内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 妊婦健診票の発行数	目標値	(単位:人)	3,606.00	3,418.00	3,500.00	
			実績値	(単位:人)	3,606.00	3,418.00		
		達成度(%)				100.0	100.0	
	②	指標内容 妊娠届出数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		102.94	109.45	
				一般財源(単位:千円)		102.94	109.45	
		達成度(%)				100.0	100.0	
(2) 成果指標	①	指標内容 乳児一般健診と乳児後期健診の実施医療機関数(吹田市内)	目標値	(単位:箇所)	56.00	50.00	50.00	
			実績値	(単位:箇所)	56.00	50.00		
		達成度(%)				100.0	100.0	
	②	指標内容 乳児一般健診と乳児後期健診の実施医療機関数(年度当初)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6,628.68	7,481.72	
				一般財源(単位:千円)		6,628.68	7,481.72	
		達成度(%)				100.0	100.0	
(3) が困難な場合	①	指標内容 乳児後期健診の受診児数	目標値	(単位:人)	3,582.00	3,516.00	3,500.00	
			実績値	(単位:人)	3,432.00	3,432.00		
		達成度(%)				95.8	97.6	
	②	指標内容 乳児後期健診の対象児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		108.16	109.00	
				一般財源(単位:千円)		108.16	109.00	
		達成度(%)				80.9	81.9	
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	<p>母子保健法に基づき実施している事業であり、今後も継続して実施する必要がある。 妊婦健康診査は、妊婦の母体や胎児の健康確保を図る上で重要な事業である。 経済的負担の軽減を図り、妊婦健診の受診を促進するため、平成26年11月から、妊婦健診公費助成額を101,560円に拡充し実施している。 また、産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図るため、産後2か月未満の産婦に対する健康診査に係る費用の助成を検討している。 引き続き、妊娠届出時に妊婦健診の必要性を伝え、妊婦健診の受診を促進するとともに、支援が必要な妊婦をより早期に把握するため、医療機関との連携の強化を図る必要がある。 さらに、飛び込み出産や虐待による乳児死亡を防ぐために、望まぬ妊娠の相談窓口(妊娠SOS)の周知を引き続き継続して行う。</p>						

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	妊婦・乳児一般・乳児後期健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00604				

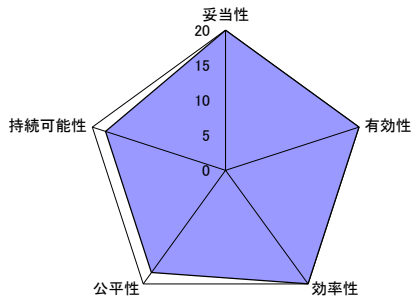
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点		
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00604
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妊婦健康診査は、母体や胎児の健康管理のために妊娠中に望ましいとされる14回の助成を行っており、公費助成額を101,560円としている。飛び込み出産や乳児の虐待死を防ぐためには、産婦人科医療機関との連携の強化が必要である。また、望まない妊娠が妊婦健診の未受診や飛び込み出産につながるリスクとなることから、「妊娠SOS」の周知や、妊婦健診の必要性を引き続き行う。</p> <p>乳児一般健康診査や、乳児後期健康診査は、協力医療機関から健診後の保健指導や、経過観察健診、訪問指導の紹介があり、支援の必要な母子を適切に支援することにより、乳児期の健全育成につながっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国は平成29年度から産婦健康診査事業を創設し、産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図る観点から、産婦健康診査の費用を助成することにより、産後の初期段階における母子への支援を強化している。

事務事業評価調書

事務事業名	乳幼児精密健診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成9年度	改正内容	視覚検診を個別検診として実施。														
(2) 直近の改正	平成22年度																
(3) 根拠法令等	母子保健法、吹田市母子保健事業実施要領																
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)												
	一部にチェックした場合はその説明																
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20										
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
		範囲等	3歳児健診の結果、精密健診を行う必要がある幼児														
	目標 (どういう状態にしたいのか)	幼児に対して精密健診を実施し、疾病や障がいの早期発見を行い適切な治療につなげる。															
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。															
(7) 事業概要	3歳児健康診査の結果、精密検査を必要とする幼児を対象に実施。聴覚二次検診と視力二次検診を実施している。 (市内協力医療機関での個別検診として実施)																
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	17	大	事業	02	中	事業	06	小	事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)										
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)										
	事業費(A)		790	915	975	980	1,134										
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50									
		総額(B)	千円	4,176	4,020	4,085	3,950	4,026									
	総事業費(A+B)		4,966	4,935	5,060	4,930	5,160										
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0									
		国		0	0	0	0	0									
		府		0	0	0	0	0									
		その他		0	0	0	0	0									
	(内訳)	市負担(D)		4,966	4,935	5,060	4,930	5,160									
		地方債		0	0	0	0	0									
		その他		0	0	0	0	0									
		一般財源		4,966	4,935	5,060	4,930	5,160									
財源計(C+D)		4,966	4,935	5,060	4,930	5,160											
(10) (該当するものは全部チェック)	実施方法		委託先	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託			① 一般社団法人 吹田市医師会													
				②													
			③														
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金		主な委託内容		視聴覚二次検診業務												
			交付先		①												
②																	
<input type="checkbox"/> その他		内容															

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	視力二次検診の実施医療機関数	目標値	(単位:機関)	22.00	23.00	23.00	
			実績値	(単位:機関)	22.00	23.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	視力二次検診の実施医療機関数(年度当初)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	224.32	220.22		
				一般財源(単位:千円)	224.32	220.22		
	②	指標内容	聴覚二次検診の実施医療機関数	目標値	(単位:機関)	21.00	21.00	21.00
				実績値	(単位:機関)	21.00	21.00	
				達成度(%)		100.0	100.0	
目標値の積算方法		聴覚二次検診の実施医療機関数(年度当初)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	235.00	241.19		
				一般財源(単位:千円)	235.00	241.19		
(2) 成果指標	①	視力二次検診の受診児数	目標値	(単位:人)	290.00	317.00	290.00	
			実績値	(単位:人)	166.00	190.00		
			達成度(%)		57.2	59.9		
	目標値の積算方法	視力二次検診の対象児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	29.73	26.66		
				一般財源(単位:千円)	29.73	26.66		
	②	指標内容	聴覚二次検診受診者数	目標値	(単位:人)	32.00	40.00	32.00
				実績値	(単位:人)	19.00	21.00	
				達成度(%)		59.4	52.5	
目標値の積算方法		聴覚二次検診の対象児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	259.74	241.19		
			一般財源(単位:千円)	259.74	241.19			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		母子保健法に基づく事業であり、視聴覚の異常を早期に発見し早期治療につなぐことは児の成長発達等に影響を及ぼすため、今後も継続していく必要がある。視力二次検診、聴覚二次検診ともに受診率が低いこと、受診率向上が大きな課題であり、改善に向けて今後もより努力していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	乳幼児精密健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00605				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00605
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>受診率が視力検診・聴覚検診とも60%に満たず低いいため、受診状況の把握や未受診勧奨等を見直す必要がある。斜視や弱視などの眼科疾患や滲出性中耳炎などの耳鼻科疾患は視力や聴覚に影響を及ぼし、成長及び生活に支障を来すため、本検診は早期発見と早期治療に重要な役割を果たしている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

現在3歳児健康診査において視聴覚アンケートを行い、聴覚疾患の早期発見に努めているが、平成29年3月に厚労省から、聴覚障がいより早期に発見するため、新生児を対象とした新生児聴覚検査に係る取り組みの充実について通知があった。新生児聴覚検査事業は平成19年より地方交付税措置もされており、本事業の実施については今後吹田市医師会への実態調査を行うなどを経て、検討をしていく必要がある。

事務事業評価調書

事務事業名	経過観察健診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成9年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	母子保健法、吹田市母子保健事業実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	乳幼児健診等の結果、要経過観察と判断された乳幼児											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	乳幼児に対して健康診査、相談を行い疾病や障がいの早期発見を図り、適切な支援につなげる。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。												
(7) 事業概要	各種乳幼児健診、相談の結果、経過観察を必要とする乳幼児を対象に、小児科、小児神経科等の専門医師や発達指導員による健診、相談を行い疾病や障がいの早期発見、健全な育成を期するとともに具体的なアドバイスを実施している。必要に応じて児童部の各種事業(パンビ親子教室・パンダ親子教室など)につないでいる。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	17	大事業	02	中事業	07	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		4,792	4,709	4,931	4,936	4,931							
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00							
		総額(B)	千円	8,352	8,039	8,170	7,900	8,052						
	総事業費(A+B)		13,144	12,748	13,101	12,836	12,983							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		13,144	12,748	13,101	12,836	12,983						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		13,144	12,748	13,101	12,836	12,983						
財源計(C+D)		13,144	12,748	13,101	12,836	12,983								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 経過観察健診(診察)実施回数	目標値	(単位:回)	36.00	35.00	36.00
			実績値	(単位:回)	32.00	34.00	
			達成度(%)		88.9	97.1	
	目標値の積算方法	経過観察健診(診察)年度当初実施予定回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	398.38	385.47	385.47
				一般財源(単位:千円)	398.38	385.47	
	(2) 成果指標	②	指標内容 経過観察健診(発達相談)実施回数	目標値	(単位:回)	120.00	120.00
実績値				(単位:回)	120.00	121.00	
達成度(%)				100.0	100.8		
目標値の積算方法		経過観察健診(発達相談)年度当初実施予定回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	106.23	108.31	108.31
				一般財源(単位:千円)	106.23	108.31	
(3) が困難な場合		①	指標内容 経過観察健診(診察)受診児数	目標値	(単位:人)	254.00	291.00
	実績値			(単位:人)	223.00	246.00	
	達成度(%)			87.8	84.5		
	目標値の積算方法	経過観察健診(診察)対象児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	57.17	53.28	53.28
				一般財源(単位:千円)	57.17	53.28	
	②	指標内容 経過観察健診(心理)受診児数	目標値	(単位:)	1,430.00	1,447.00	1,435.00
実績値			(単位:)	1,140.00	1,205.00		
達成度(%)			79.7	83.3			
目標値の積算方法	経過観察健診(心理)対象児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	11.18	10.88	10.88	
			一般財源(単位:千円)	11.18	10.88		
の(3)が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		母子保健法に基づく事業であり、継続していく必要がある。 発達相談については対象者が増加傾向にあり、予約待ちの方が恒常的にいる状態のため、適切な時期に案内できるよう今後も努めていく。発達相談枠数の増枠も検討していく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	経過観察健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00606				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00606
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>受診状況については、診察は9割近く受診されているのに対し心理が8割弱であるのは、対象児が多くキャンセル待ち状態が続いておりタイムリーな相談の案内が困難であることが原因の一つと考える。心理相談は自己都合や相談希望の消失等の理由でキャンセルが出ることも多く、当日の実施調整も工夫が必要な状況である。</p> <p>また、心理相談を行う発達相談員の多くは臨時雇用員だが、報償費が他市に比べ単価が低いため、担い手が少なく毎年確保に苦慮している。報償費の増額も検討しないと、発達相談員の確保が難しい。本健診は、支援が必要なケースを専門の医療機関につないだり、発達課題等のある時については児童部と連携し親子教室や療育機関などを紹介し、早期治療や早期療育に役割を果たしている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

大阪府が要望していた発達障がいの早期発見、早期発達支援を目的とした乳幼児健診の問診項目について、本市でも平成27年3月から導入した。そのため、発達相談対象児が増加し、より発達相談枠数が不足する可能性がある。

事務事業評価調書

事務事業名	歯科フォロー事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成9年度	改正 内容	吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例を制定。											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	母子保健法、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例、吹田市母子保健事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	1歳6か月児・2歳6か月児・3歳児の歯科健康診査の受診者のうち要フォロー児												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	要フォロー児に対して、歯科保健指導を行い、う蝕の予防を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。													
(7)	事業概要	1歳6か月児・2歳6か月児・3歳児健康診査の受診者でカリオスタット検査の結果及び口腔内の状況生活習慣等の状況に応じて歯科に係るフォローが必要とされた幼児に対し、歯科医師や歯科衛生士による口腔内観察、歯科保健指導、口腔内に関する歯科相談を行う。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	17	大事業	02	中事業	08	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,062	2,033	2,048	2,048	2,045							
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	4,176	4,020	4,085	3,950	4,026						
		総事業費(A+B)		6,238	6,053	6,133	5,998	6,071							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		6,238	6,053	6,133	5,998	6,071							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			6,238	6,053	6,133	5,998	6,071								
財源計(C+D)		6,238	6,053	6,133	5,998	6,071									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 歯科フォロー実施回数	目標値	(単位:回)	24.00	24.00	24.00	
			実績値	(単位:回)	24.00	24.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	歯科フォロー実施予定回数(年度当初)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		252.21	255.54	
				一般財源(単位:千円)		252.21	255.54	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 歯科フォロー事業受診児数	目標値	(単位:人)	2,358.00	3,100.00	2,500.00	
			実績値	(単位:人)	1,007.00	1,295.00		
			達成度(%)		42.7	41.8		
	目標値の積算方法	歯科フォロー事業対象児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6.01	4.74	
				一般財源(単位:千円)		6.01	4.74	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		母子保健法に基づき実施している事業であり、「吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例」の第8条基本的施策において乳幼児期におけるむし歯予防及び食育の支援のために必要な施策を行うとされており、本事業を継続的に実施する必要がある。特に要フォロー児のう蝕予防には、個々に応じた歯科保健指導を実施することが生活習慣や食生活習慣の改善とその継続に効果的であることから、今後もさらに受診率の向上に努める必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	歯科フォロー事業	事業区分	その他
事務事業番号	00607				

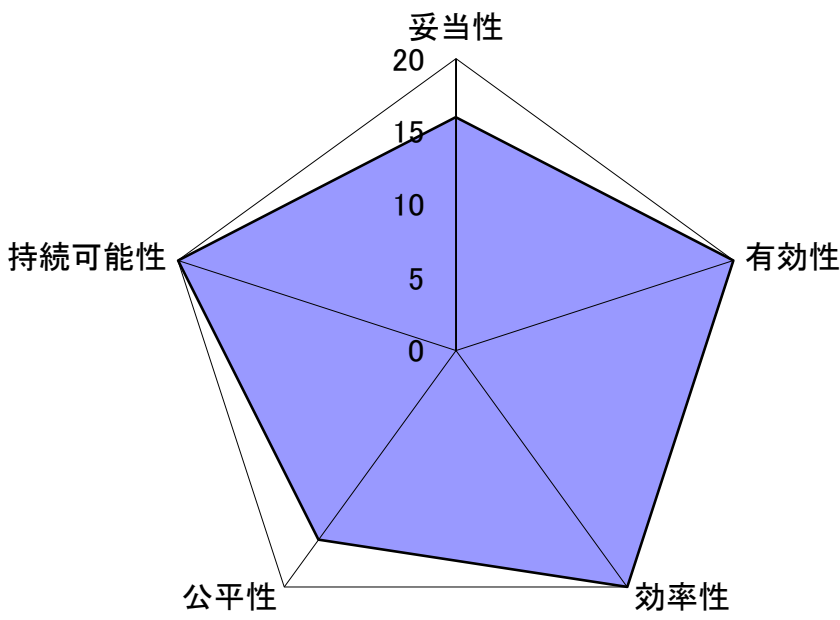
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00607
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>歯科健診の結果により、要フォロー児とその保護者に対して、う蝕予防及びう蝕進行しないように個別に歯科保健指導を強化して行っている。う蝕の発生により、幼児の成長発育や永久歯に対する影響があることを理解してもらい、生活習慣や食生活習慣の改善を促すことで幼児の歯科保健の向上及び健全育成を図っている。受診率がやや低下している。中でも3歳児歯科フォローの受診率が低い。3歳児歯科健診の中でかかりつけ歯科医を持つことを啓発していることもあり、かかりつけ歯科医で診てもらっている児が多いのではと考えられる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	6歳臼歯健康診査事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成12年度	改正 内容	吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例を制定。											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	母子保健法、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例、吹田市6歳臼歯健康診査業務実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	満6歳から7歳を超えない児												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	6歳臼歯及び永久歯のう蝕予防及び幼児の健全な育成を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。													
(7)	事業概要	6歳臼歯及び永久歯のう蝕予防を目的に市内の協力歯科医院にて無料で歯科健診・歯科保健指導を実施し、母子保健の向上を図る。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	17	大事業	02	中事業	09	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		8,256	8,774	8,548	8,530	9,072							
		人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.20						
			総額(B)	千円	2,506	2,412	2,451	2,370	1,611						
		総事業費(A+B)		10,762	11,186	10,999	10,900	10,683							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		10,762	11,186	10,999	10,900	10,683							
(内訳)	地方債	0	0	0	0	0									
	その他	0	0	0	0	0									
	一般財源	10,762	11,186	10,999	10,900	10,683									
財源計(C+D)		10,762	11,186	10,999	10,900	10,683									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人 吹田市歯科医師会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	6歳臼歯健康診査協力医療機関数	目標値	(単位:機関)	156.00	157.00	161.00
			実績値	(単位:機関)	157.00	161.00	/	
		達成度(%)		100.6	102.5			
	目標値の積算方法	6歳臼歯健康診査協力医療機関数(年度当初)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	71.25	68.20		
				一般財源(単位:千円)	71.25	68.20		
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) 困難な場合		①	指標内容	6歳臼歯健康診査受診児数	目標値	(単位:人)	3,594.00	3,533.00
	実績値			(単位:人)	2,316.00	2,233.00	/	
	達成度(%)		64.4	63.2				
	目標値の積算方法	6歳臼歯健康診査対象児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4.83	4.92		
				一般財源(単位:千円)	4.83	4.92		
	(4) 総合評価	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0					
③		活動内容		目標				
	成果内容		達成状況					
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		母子保健法に基づき実施している事業であり、「吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例」の第8条基本的施策において、乳幼児期におけるむし歯予防及び食育の支援のために必要な施策を行うとされているため、本事業を継続して実施する必要がある。今後も受診率の向上に努めていく。						

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	6歳臼歯健康診査事業	事業区分	その他
事務事業番号	00608				

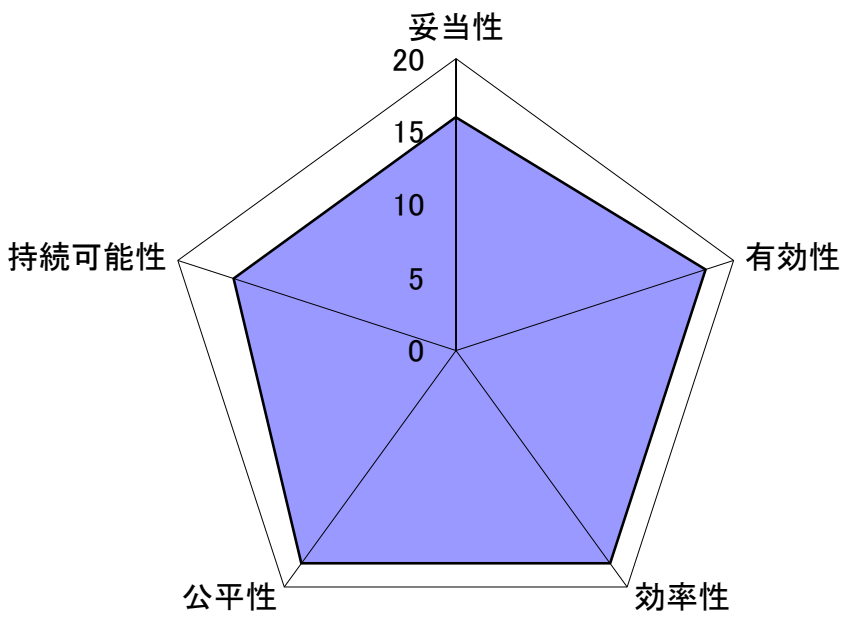
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00608
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>6歳臼歯は永久歯の中で最もう蝕にり患しやすい歯である。そのため、この時期に歯科健診を行うことは親子ともう蝕予防の意識付けとなり、将来にわたる歯科保健の向上、および8020推進事業につながるため、受診率の向上が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	妊婦歯科健診事業				
担当部署	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成14年度	改正内容	吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例を制定。														
(2) 直近の改正	平成26年度																
(3) 根拠法令等	母子保健法、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例、吹田市妊婦歯科健康診査業務実施要領																
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)														
	一部にチェックした場合はその説明																
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20										
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
		範囲等	妊婦														
	目標 (どういう状態にしたいのか)	歯科健康診査・歯科保健指導を実施し、歯科疾患の早期発見と健康保持を図る。															
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。															
(7) 事業概要	妊婦を対象とした歯科疾患の早期発見・早期予防を目的に、市内の協力歯科医院にて歯科健康診査・歯科保健指導を妊娠中に1回(無料)実施し、母子保健の向上を図る。																
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	17	大	事業	02	中	事業	10	小	事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)										
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)										
	事業費(A)		7,023	6,988	7,041	6,902	7,294										
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20									
		総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611									
	総事業費(A+B)		8,694	8,596	8,675	8,482	8,905										
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0									
		国		0	0	0	0	0									
		府		0	0	0	0	0									
	その他		0	0	0	0	0	0									
	(内訳)	市負担(D)		8,694	8,596	8,675	8,482	8,905									
		地方債		0	0	0	0	0									
		その他		0	0	0	0	0									
一般財源		8,694	8,596	8,675	8,482	8,905											
財源計(C+D)		8,694	8,596	8,675	8,482	8,905											
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 一般社団法人 吹田市歯科医師会														
			②														
			③														
	主な委託内容		歯科健康診査・歯科保健指導														
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①															
		②															
		③															
<input type="checkbox"/> その他	内容																

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	妊婦歯科健康診査協力医療機関数	目標値	(単位:人)	156.00	157.00	161.00
			実績値	(単位:人)	157.00	161.00		
		達成度(%)		100.6	102.5			
	目標値の積算方法	妊婦歯科健康診査協力医療機関数(年度当初)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	54.75	53.02		
			一般財源(単位:千円)	54.75	53.02			
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合		①	指標内容	妊婦歯科健康診査受診者数	目標値	(単位:人)	3,606.00	3,418.00
	実績値			(単位:人)	1,287.00	1,276.00		
	達成度(%)			35.7	37.3			
	目標値の積算方法	妊婦歯科健康診査対象者数(妊娠届出数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	6.68	6.69		
			一般財源(単位:千円)	6.68	6.69			
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
①	活動内容			目標				
	②	成果内容		達成状況				
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	<p>母子保健法に基づく事業であり、「吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例」の第8条基本的施策において成人期(妊産婦である期間を含む)における歯周病及び歯の喪失の予防のために必要な施策を行うとされており、まさしく本事業が相当するため、継続して実施する必要がある。今後、さらに受診率の向上に努める必要がある。</p> <p>また、出産後においても不安定なホルモンバランスや生活環境の変化等で歯科疾患に罹患しやすい時期であることから、出産後1年以内の産婦に対する歯科健康診査の実施を検討している。</p>						

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	妊婦歯科健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00609				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00609
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>妊娠中は、ホルモンバランスの変化により歯肉炎が発症しやすく、またつわりなどで口腔ケアが困難になり口腔内のトラブルが発症しやすい。歯科疾患(う蝕、歯周病)の早期発見、早期治療だけでなく、歯科保健指導を妊娠期に行うことは、親から子どもへのむし菌の伝搬を防ぐ啓発となるとともに、産後の口腔ケアの重要性についても啓発することができ、本事業の意義は大きい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	未熟児専門相談事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成25年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	母子保健法、吹田市母子保健事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	未熟児で生まれた子の保護者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	医師や発達指導員による専門相談を実施し、保護者の育児不安の軽減と未熟児の健康保持を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。													
(7)	事業概要	医師や発達指導員による専門相談を実施し、保護者の育児不安の軽減と未熟児の健康保持を図る。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	17	大事業	02	中事業	11	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		566	548	614	597	594							
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	4,176	4,020	4,085	3,950	4,026						
		総事業費(A+B)		4,742	4,568	4,699	4,547	4,620							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0							
		市負担(D)		4,742	4,568	4,699	4,547	4,620							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			4,742	4,568	4,699	4,547	4,620								
財源計(C+D)		4,742	4,568	4,699	4,547	4,620									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 専門相談の実施回数	目標値	(単位:回)	12.00	12.00	/	
			実績値	(単位:回)	12.00	12.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	専門相談の実施予定回数(年度当初)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	380.67	390.17		
				一般財源(単位:千円)	380.67	390.17		
	②	指標内容 未熟児家族交流会の実施回数	目標値	(単位:回)	2.00	4.00		/
実績値			(単位:回)	2.00	4.00			
達成度(%)			100.0	100.0				
目標値の積算方法	未熟児家族交流会の実施回数(年度当初)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,284.00	1,170.50			
			一般財源(単位:千円)	2,284.00	1,170.50			
(2) 成果指標	①	指標内容 専門相談の受診児の延人数	目標値	(単位:人)	66.00	48.00	/	
			実績値	(単位:人)	61.00	68.00		
			達成度(%)		92.4	141.7		
	目標値の積算方法	極低出生体重児数(出生体重1500g未満)×3回分	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	74.89	68.85		
				一般財源(単位:千円)	74.89	68.85		
	②	指標内容 未熟児家族交流会の参加者の延べ人数	目標値	(単位:人)	44.00	72.00		/
			実績値	(単位:人)	60.00	37.00		
			達成度(%)		136.4	51.4		
目標値の積算方法	極低出生体重児数(出生体重1500g未満)×実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	76.13	126.54			
			一般財源(単位:千円)	76.13	126.54			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>本事業は、大阪府からの権限移譲により、平成25年8月(平成25年4月生まれ以降の未熟児が対象)から実施している。未熟児の保護者は自責の念や児の発達等について不安を抱きやすいことから、専門医や発達指導員による個別相談と保健師の訪問、保護者同士の交流会など、様々な方法で保護者の不安の軽減と未熟児の発育、発達の支援に努めていく。また、交流会時には保護者同士が安心して交流できるよう、保育担当のボランティアが必要である。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	未熟児専門相談事業	事業区分	その他
事務事業番号	00610				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00610
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>大阪府から権限移譲を受けて、平成25年8月に事業を開始している。未熟児専門相談では、医師、発達指導員、保健師が未熟児の保護者の悩みに丁寧に対応し、発達や発育や育児に関する助言や、お子さんが運動面や精神面での支援が必要な場合は、児童部が実施しているわかたけ園やバンビ親子教室等の療育機関へつないでいる。</p> <p>また、未熟児家族交流会を年2回実施し、未熟児を持つ保護者同士の交流を促進するとともに、未熟児で生まれたお子さんへの栄養や運動、発達の学習会を行い、保護者の育児不安の解消と健全育成に努めている。今後、保護者のニーズにあった支援ができるよう、内容を見直すとともに、参加した親子が地域でつながっていけるよう、他市の状況を参考にしながら、運営方法を見直す必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	訪問指導事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成9年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	母子保健法、吹田市母子保健事業実施要領						
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明 母子保健法に規定する新生児・未熟児・妊産婦のほか、乳幼児等に対しても実施。						
(5) 総合計画の体系	章 03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節 06	細節 20			
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
		範囲等	乳幼児・妊産婦				
	目標 (どういう状態にしたいのか)	母子に対する適切な保健指導を行い育児不安の軽減を図る。					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上及び虐待の防止が図られる。					
(7) 事業概要	保健指導を要する妊産婦や乳幼児(未熟児を含む)に対して、関係機関や本人、家族から訪問依頼のあった場合、保健師や助産師が訪問指導を実施する。 また、4か月児、1歳6か月児、3歳児健診の未受診児で支援が必要と思われる家庭を保健師が訪問し、より一層の育児支援を行い虐待防止に努めている。						
(8) H28事業別予算コード	会計 01	款 04	項 01	目 17	大 03	中 01	小 01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		6,144	6,637	6,461	5,632	11,437
	人件費	職員数	5.50	5.50	5.50	5.50	6.50
		総額(B)	45,936	44,215	44,935	43,450	52,338
	総事業費(A+B)		52,080	50,852	51,396	49,082	63,775
	特定財源(C)		989	1,300	1,337	5,482	6,406
	(内訳)	国	491	650	665	2,741	3,200
		府	491	650	665	2,741	3,200
		その他	7	0	7	0	6
	市負担(D)		51,091	49,552	50,059	43,600	57,369
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		51,091	49,552	50,059	43,600	57,369	
財源計(C+D)		52,080	50,852	51,396	49,082	63,775	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 新生児・乳児・産婦訪問指導数	目標値	(単位:人)	1,750.00	1,750.00	1,750.00
			実績値	(単位:人)	1,337.00	1,440.00	
			達成度(%)		76.4	82.3	
	②	目標値の積算方法 出生数の50%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	38.03	35.12	260.00
				一般財源(単位:千円)	37.06	31.31	
			達成度(%)		76.1	70.4	
(2) 成果指標	①	指標内容 新生児・乳児・産婦訪問指導数	目標値	(単位:人)	1,337.00	1,440.00	1,550.00
			実績値	(単位:人)	1,337.00	1,440.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	②	目標値の積算方法 新生児・乳児・産婦訪問指導数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	38.03	35.12	260.00
				一般財源(単位:千円)	37.06	31.31	
			達成度(%)		100.0	100.0	
(3) が指標で場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>母子保健法に基づく事業で、虐待の発生予防・早期発見に資する事業。 平成28年度10月から、妊娠・出産包括支援事業を創設し、妊娠届出時にすべての妊婦に保健師が面接を行い妊娠・出産・子育ての情報提供に努めていることから、本事業の新生児・乳児・産婦訪問指導件数が増加している。また、未受診児訪問においては、「大阪府における乳幼児健診未受診児ガイドライン」に基づき、平成27年度から拡充して実施しており、引き続き未受診児の把握に努める必要がある。 平成29年度からは、実施方法を(社)大阪府助産師会へ委託し、訪問件数の増加を図る。 なお、「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、新生児訪問の実施率をKPI(重要業績評価指標)としており、平成31年度には実施率80%を目標としているため、訪問件数のさらなる増加を図る必要がある。</p>				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	訪問指導事業	事業区分	その他
事務事業番号	00611				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00611
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妊娠届出等から支援につながった妊婦や、最も育児不安や負担感が強い産後2か月までの産婦とその児、健診未受診家庭等様々な家庭に訪問を行い、健全育成に努めている。本事業は虐待の発生予防、早期発見の上でも重要であり、今後、拡充して実施していく必要がある。 平成29年度助産師の訪問件数を拡大するため、実施方法を一部大阪府助産師会に委託して実施する。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国は、平成28年度児童福祉法、母子保健法改正。母子保健事業について、虐待の発生予防に資する事業であると明確化。

事務事業評価調書

事務事業名	離乳食講習会事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成9年度	改正 内容						
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	母子保健法、吹田市母子保健事業実施要領							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章 03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節 06 細節 20					
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	生後5~6か月頃及び9~11か月頃の乳児の保護者					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	離乳のすすめ方を講義・試食を通して学ぶとともに、保護者の育児不安を軽減し、健康づくりの基礎となる食習慣を身につける。						
	母子保健の向上が図られる。							
(7) 事業概要	乳児のいる保護者を対象に離乳のすすめ方について講習会を実施する。ごっくんコースとかみかみコースの2コースに分け2会場で、市独自で作成したテキストを使用し、講義、試食、相談を行っている。							
(8) H28事業別 予算コード	会計 01	款 04	項 01 目 17 大 04 中 02 小 01					
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		855	757	818	736	793	
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
		総額(B)	8,352	8,039	8,170	7,900	8,052	
	総事業費(A+B)		9,207	8,796	8,988	8,636	8,845	
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	
		国		0	0	0	0	
		府		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
	(内訳)	市負担(D)		9,207	8,796	8,988	8,636	8,845
		地方債		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
		一般財源		9,207	8,796	8,988	8,636	8,845
財源計(C+D)		9,207	8,796	8,988	8,636	8,845		
(10) (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 ごっくんコース・かみかみコースの実施回数	目標値	(単位:回)	50.00	50.00	/
			実績値	(単位:回)	50.00	50.00	
		達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法 ごっくんコース・かみかみコースの実施予定回数(年度当初)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	175.92	178.12		
			一般財源(単位:千円)	175.92	178.12		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 受講者数	目標値	(単位:人)	1,560.00	1,560.00	/
			実績値	(単位:人)	1,484.00	1,602.00	
		達成度(%)		95.1	102.7		
	目標値の積算方法 定員数 ごっくん(70人×12か月) かみかみ(60人×12か月)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5.93	5.56		
			一般財源(単位:千円)	5.93	5.56		
	②	指標内容 相談件数	目標値	(単位:)	1,484.00	1,602.00	
実績値			(単位:)	910.00	1,208.00		
達成度(%)		61.3	75.4				
目標値の積算方法 受講者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	9.67	7.37			
		一般財源(単位:千円)	9.67	7.37			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>母子保健法に基づき実施しており、継続して実施する必要がある。離乳食の進め方や作り方等、保護者の離乳食への関心は高い。また、質問や相談が多く、離乳食の進み具合や悩みも異なるため、個々に応じた丁寧な対応が必要である。受講者数は年々増加しており、タイムリーに受講ができるよう、定員を増やすために二部屋で同時開催するなど、受講を希望する市民をできるだけ受け入れるように工夫を重ねている。しかし、ここ数年の出生数の増加が著しい千里丘地域においては、現在の会場までの交通利便が悪く、受講者は少ない状況であるため、会場数を増加し、千里丘地域での実施が必要であると思われる。</p>				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	離乳食講習会事業	事業区分	その他
事務事業番号	00614				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保健センター	事務事業番号	00614
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>講義、試食を通して離乳のすすめ方を学ぶことは、保護者の育児不安の軽減につながっている。また、インターネットなどの情報が氾濫するなか、栄養士による離乳食に関する正しい知識の啓発と相談は、意義があると思う。受講者数は年々増加しており、臨時的に回数を増やしたり、定員を増やすためにスタッフを増やし対応するなど、タイムリーに受講できるように工夫し実施している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	妊婦(両親)教室事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成9年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	母子保健法、吹田市母子保健事業実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	妊婦及びその配偶者												
	目標(どういう状態にしたいのか)	妊婦及びその配偶者が妊娠、出産、育児の正しい知識や技術を習得する。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。												
(7) 事業概要	<p>集団学習により妊娠・出産・育児の知識や技術を身につけ、父親と母親が主体的に子を産み育てるという意識を持てる場とするともに、子育ての仲間づくりのきっかけの場とする。 妊娠出産編は3回1コースで年12コース、父親育児編は月1回で年12回実施している。</p>													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	17	大	05	中	01	小	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		888	876	892	891	969							
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00							
		総額(B)	千円	8,352	8,039	8,170	7,900							
	総事業費(A+B)		9,240	8,915	9,062	8,791	9,021							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	96							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	96							
	(内訳)	市負担(D)		9,240	8,915	9,062	8,925							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
		一般財源		9,240	8,915	9,062	8,925							
財源計(C+D)		9,240	8,915	9,062	8,791	9,021								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)		
(1) 活動指標	①	指標内容	妊婦(両親)教室受講者実人数(妊娠出産編・父親育児編)	目標値	(単位:人)	900.00	900.00	1,394.00
			実績値	(単位:人)	837.00	841.00		
		達成度(%)		93.0	93.4			
	目標値の積算方法	定員(妊娠出産編:平成25年度よりセンター42名×6+分館36名×6=468、父親育児編 定員36名×12=432)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	10.65	10.77		
			一般財源(単位:千円)	10.65	10.77			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標		①	指標内容	妊婦(両親)教室(妊娠出産編・父親育児編)に参加し、「教室に参加して参考になった」と回答した人数	目標値	(単位:人)	1,330.00	1,261.00
	実績値			(単位:人)	1,271.00	1,166.00		
	達成度(%)			95.6	92.5			
	目標値の積算方法	アンケート	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	7.01	7.77		
			一般財源(単位:千円)	7.01	7.77			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容		目標				
	②	成果内容		達成状況				
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	母子保健法に基づき実施している事業であり、今後も継続して実施する必要がある。 妊娠中から出産・育児についての具体的な知識や、イメージを持つことで、親としての自覚を育て、産後の育児不安の軽減や父親の育児参画の促進を図ることを目的とした事業。 土曜日に開催している「父親育児編」について、定員を超える申し込みがあり、すべての希望者の受け入れができていない状況がみられた。 平成29年度は、多様化している市民のニーズに対応できるよう、働く妊婦や夫が参加しやすいよう運営方法を見直し、実施する予定。						

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	妊婦(両親)教室	事業区分	その他
事務事業番号	00615				

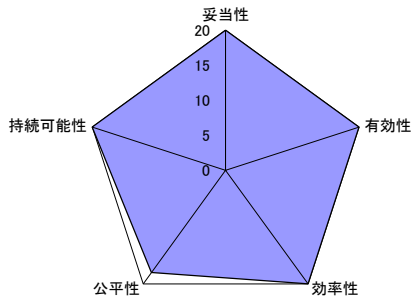
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00615
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成29年度に働く妊婦やその夫(パートナー)が参加しやすいよう、運営方法等の変更を行う。また、父親育児教室のニーズ高く、定員を超える申し込みがある回が多く発生しているため、実施回数の増加をおこなったり、体験型講座としてマタニティクッキングコースを新設する。実施方法等について、改善した内容が適正であるか評価し、必要があれば引き続き事務改善に努める。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	未熟児養育医療給付事業				
担当部署	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成25年度	改正 内容					
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	母子保健法						
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章 03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節 06 細節 20				
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
	目標 (どうい状態にしたいのか)	範囲等	母子保健法第6条第6項の規定による未熟児 種々の未熟性があり、入院養育を必要とする未熟児に対して、その養育に必要となる医療の給付を行うことにより、未熟性の解消及び健康保持を図る。				
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。					
(7) 事業概要	出生体重2,000g以下の低体重等、種々の未熟性があり、養育医療指定医療機関の医師が入院養育が必要であると認められた未熟児を対象に、当該医療機関での入院養育に要する医療費の一部を公費負担する。(世帯の所得税額等に応じた自己負担金徴収あり)						
(8) H28事業別 予算コード	会計 01	款 04	項 01 目 17 大事業 06 中事業 01 小事業 01				
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)		
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		25,026	13,426	25,025	12,444	21,031
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		総額(B)	8,352	8,039	8,170	7,900	8,052
	総事業費(A+B)		33,378	21,465	33,195	20,344	29,083
	特定財源(C)		19,250	10,242	19,550	9,181	15,963
	(内訳)	国	12,500	6,583	12,500	6,004	10,506
		府	6,250	3,291	6,250	3,002	5,253
		その他	500	368	800	175	204
	市負担(D)		14,128	11,223	13,645	11,163	13,120
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		14,128	11,223	13,645	11,163	13,120	
財源計(C+D)		33,378	21,465	33,195	20,344	29,083	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府国民健康保険団体連合会			
			②	大阪府社会保険診療報酬支払基金			
	主な委託内容		③				
			医療費レセプト審査及び診療報酬支払事務				
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
		実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
		実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
(3) が困難な場合	① 活動内容	種々の未熟性があり、入院養育を必要とする未熟児に対して、その養育に必要なとなる医療の給付を行うことにより、未熟性の解消及び健康保持を図る。			目標	未熟児の未熟性の解消及び健康保持、母子保健の向上。	
	② 成果内容	対象児の未熟性の解消及び健康保持と保護者の負担軽減のため、入院養育に必要なとなる医療費を公費負担することにより、安心安全で適切な治療が受けられる。			達成状況	未熟児の未熟性の解消及び健康保持、母子保健の向上の達成状況を測定する代表的な指標設定は困難。	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	未熟児養育医療の給付決定にあたっては、対象となる未熟児の世帯の所得税額等に応じて自己負担額を徴収する必要がある。 今後も事業の実施を継続していくにあたり、医療給付に係る事務に併せて、自己負担金の滞納等が生じることのないよう、適切に処理していくことも重要であり、そのためには適切な人員配置及びシステム構築を図る必要があると考える。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	未熟児養育医療給付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00616				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20			
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00616
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>母子保健法に基づく義務的事業であり、未熟児の医療給付を行うことで、未熟性の解消や医療負担の軽減が図られるため、今後も継続して実施する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

未熟児養育医療の給付決定にあたっては、対象となる未熟児の世帯の所得税額等に応じて自己負担額を徴収する必要がある。今後も事業の実施を継続していくにあたり、医療給付に係る事務に併せて、自己負担金の滞納等が生じることのないよう、適切に処理していくことも重要であり、そのためには適切な人員配置及びシステム構築を図る必要があると考える。

事務事業評価調書

事務事業名	子どもアレルギー予防事業				
担当部署	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正 内容					
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	母子保健法、公害健康被害予防事業助成金交付要綱						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章 03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節 06 細節 20				
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	4か月児・1歳6か月児・3歳児健診の受診児				
	結果 (どのような効果が得られるのか)	乳幼児健診等でアレルギーハイリスク児を把握し、専門医による診察・相談及び保健師等による保健指導を実施することで、気管支ぜん息等のアレルギー疾患発症の未然防止を図る。					
	母子保健の向上が図られる。						
(7) 事業概要	4か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査の受診児にアレルギーに関するアンケートを実施し、アンケートからスクリーニングされた乳幼児・保護者に対し保健指導を実施。 また、保健センターが実施する各種事業の場においてフォローが必要と判断された児や就学前でフォローを希望する児に対して、医師による診察・指導を実施。						
(8) H28事業別 予算コード	会計 01	款 04	項 01 目 17 大事業 07 中事業 01 小事業 01				
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		3,858	3,531	4,131	3,510	4,191
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		総額(B)	8,352	8,039	8,170	7,900	8,052
	総事業費(A+B)		12,210	11,570	12,301	11,410	12,243
	特定財源(C)		3,858	3,508	4,131	3,510	4,191
	(内訳)	国	0	0	0	0	0
		府	0	0	0	0	0
		その他	3,858	3,508	4,131	3,510	4,191
	市負担(D)		8,352	8,062	8,170	7,900	8,052
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	8,352	8,062	8,170	7,900	8,052
財源計(C+D)		12,210	11,570	12,301	11,410	12,243	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 子どもアレルギー専門相談実施回数	目標値	(単位:人)	12.00	12.00	/
			実績値	(単位:人)	12.00	12.00	
		達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法 子どもアレルギー専門相談実施予定回数 (年度当初)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	964.17	973.33		
			一般財源(単位:千円)	671.83	680.83		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 子どもアレルギー専門相談受診児数	目標値	(単位:人)	120.00	120.00
	実績値			(単位:人)	98.00	113.00	
	達成度(%)		81.7	94.2			
	目標値の積算方法 子どもアレルギー専門相談定員数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	118.06	103.36		
			一般財源(単位:千円)	82.27	72.30		
	(3) が困難な場合	①	活動内容			目標	
②				成果内容			達成状況
		今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充		<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
評価の説明			平成26年7月より、独立行政法人環境再生保全機構の助成を受け、実施している。受診者の評価も高く、アレルギー疾患に対する正しい知識と適切な治療を行い、保護者の不安を軽減するためにも継続的な実施が必要である。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	子どもアレルギー予防事業	事業区分	その他
事務事業番号	00618				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点				
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。				
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。				
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。				
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点				
④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。						
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点				
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。				
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。				
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点		
		③事業は目標どおりに進捗していますか。				
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点				
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。						
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点				
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。				
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点		
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。				
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。				
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点				
④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。						
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点				
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。				
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点		
		②サービスの水準は適正ですか。				
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。				
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点				
④公平性を確保するための取組みをしていますか。						
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点				
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。				
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。				
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点		
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。				
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点				
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。						
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点				
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))				

所属名	保健センター	事務事業番号	00618
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>受診児数は定員を満たしていないが、昨年度よりも増加していることから市民のニーズは高くなっていると考えられる。個別相談ではアレルギー疾患に対する正しい知識と適切な治療など個々の状態に合わせた保健指導を行うことができ、保護者の精神的負担の軽減につながっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	風しん予防接種促進事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	大阪府風しんワクチン等接種事業費補助金交付要綱、吹田市予防接種に係る自己負担額助成金交付要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	妊娠を希望する女性及びその配偶者、妊娠している女性の配偶者のうち、風しん抗体検査の結果、十分な抗体価がなく予防接種を必要とする者。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	風しん予防接種の促進を図り、風しんの感染拡大及び出生児の先天性風しん症候群の発症を防止する。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	公衆衛生の向上及び増進が図られる。												
(7)	事業概要	出生児の先天性風しん症候群の発症を防止することを目的に、妊娠を希望する女性及びその配偶者、妊娠している女性の配偶者のうち、風しん抗体検査の結果、十分な抗体価がなく予防接種を必要とする者に対し、風しん予防接種に要した費用の一部を助成する。 【平成26年度から平成30年度までに限り実施】													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	03	大事業	04	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,562	1,531	1,617	1,344	1,617							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611						
		総事業費(A+B)		3,233	3,139	3,251	2,924	3,228							
		特定財源(C)		780	765	807	807	807							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	780	765	807	807	807							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		2,453	2,374	2,444	2,117	2,421							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	2,453		2,374	2,444	2,117	2,421									
財源計(C+D)		3,233	3,139	3,251	2,924	3,228									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	対象となる市民										
				②											
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	助成人数	目標値	(単位:人)	260.00	270.00	270.00
			実績値	(単位:人)	257.00	239.00	/	
		達成度(%)		98.8	88.5			
	目標値の積算方法	予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	12.21	12.46		
				一般財源(単位:千円)	9.24	9.08		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
③	活動内容				目標			
		成果内容	風しん感染拡大及び出生児の先天性風しん症候群の防止。			達成状況	定量的な指標を示すのは困難。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成25年から風しんが主に首都圏と近畿地方で大流行しており、平成25年10月時点での前年比として、全国で約6倍、大阪府では約8倍と過去最悪のペースで感染が拡大、特に過去に予防接種法による定期接種の機会がなかった世代を含めた20～40歳代前半までの男性の間で感染が拡大、それに伴い、出産・子育て世代への感染も拡大したことから、出生児の「先天性風しん症候群」の発症が急増した。大阪府では平成26年3月に「先天性風しん症候群対策事業」として府内市町村に対する補助金交付事業等の実施(平成26年度～平成30年度)を決定し、府民の風しん抗体保有率向上と出生児の「先天性風しん症候群」発症防止を府内全域で推し進めることとした。本市においても、大阪府の補助金制度を活用する形で本事業を実施することにより、市区域はもとより府内広域での風しん感染拡大及び出生児の先天性風しん症候群の発症防止に繋がると考える。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	風しん予防接種促進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00624				

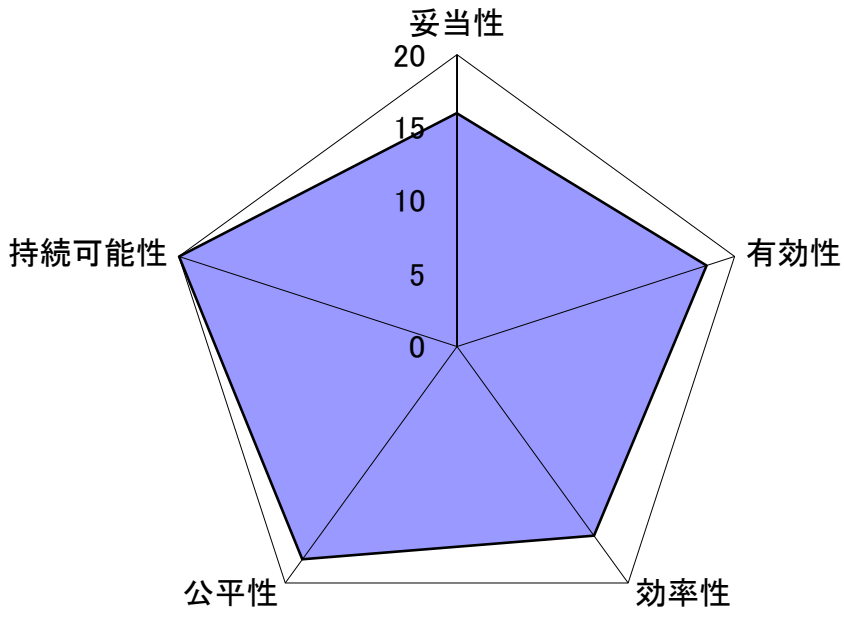
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00624
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>風しん予防接種を促進して、風しんの感染拡大及び出生時の先天性風しん症候群の発症防止に努めるためにも、本事業の必要性は極めて大きいと考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

本事業は大阪府の補助金制度を活用する形で実施しているが、府内各市町村においても同様の取り組みが行われていることから、府内広域での感染拡大及び出生時の先天性風しん症候群の防止においても効果があると考えます。

事務事業評価調書

事務事業名	すいた健康サポーター事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	なし													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市民・地区福祉委員会等												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	「すいた健康サポーター」を養成し、主体的・積極的な健康づくり及び地域に根差した健康づくりを推進する。												
(7) 事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	健康づくりを推進することで、健康寿命が延伸する。												
	<p>すいた健康サポーター事業は、市民及び地区福祉委員会を対象とした健康づくりについての知識と手法を学ぶことのできる講座を開催し、一定の基準を満たした受講者に「すいた健康サポーター」修了証を発行している。「すいた健康サポーター」は、自らの健康づくりに努めるとともに、家族や友人に対して、また、地域活動等において健康づくりの啓発を実践することで健康づくりを推進する。</p>													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	15	大事業	02	中事業	03	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		506	447	372	194	459							
	人件費	職員数	人	1.00	1.00	0.75	0.75	0.25						
		総額(B)	千円	8,352	8,039	6,128	5,926	2,013						
	総事業費(A+B)		8,858	8,486	6,500	6,120	2,472							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		8,858	8,486	6,500	6,120	2,472							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		8,858	8,486	6,500	6,120	2,472								
財源計(C+D)		8,858	8,486	6,500	6,120	2,472								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 すいた健康サポーター	目標値	(単位:人)	150.00	80.00	80.00	
			実績値	(単位:人)	83.00	64.00		
			達成度(%)		55.3	80.0		
	目標値の積算方法	すいた健康サポーター講座の受講者のうち、修了証の発行者数(前年度実績)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		102.24	3.03	
				一般財源(単位:千円)		102.24	3.03	
	②	指標内容 キッズ健康サポーター教室実施校(平成28年度開始)	目標値	(単位:校)	0.00	2.00	4.00	
			実績値	(単位:校)	0.00	2.00		
			達成度(%)		0.0	100.0		
目標値の積算方法		キッズ健康サポーター教室を実施した小学校校数(前年度実績)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	97.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	97.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 健康づくり啓発用品の貸出件数	目標値	(単位:件)	2.00	2.00	5.00	
			実績値	(単位:件)	2.00	5.00		
			達成度(%)		100.0	250.0		
	目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4,243.00	38.80		
				一般財源(単位:千円)	4,243.00	38.80		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難 な 場合 示 す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		市民・地区福祉委員会を対象とした「すいた健康サポーター」の講座の実施については、継続して実施するが、より市民の参画が可能となるよう講座の実施方法について検討を図る。また、平成28年度(2016年度)から実施した「キッズ健康サポーター」については、希望する小学校2校の小学4年生に対して試行的に実施したところ、子ども達の健康づくりだけでなく、その保護者に対しても啓発につなげるという効果が一定得られたため、平成29年度(2017年度)の実施状況を踏まえつつ、継続して事業を実施していく。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	すいた健康サポーター事業	事業区分	その他
事務事業番号	01606				

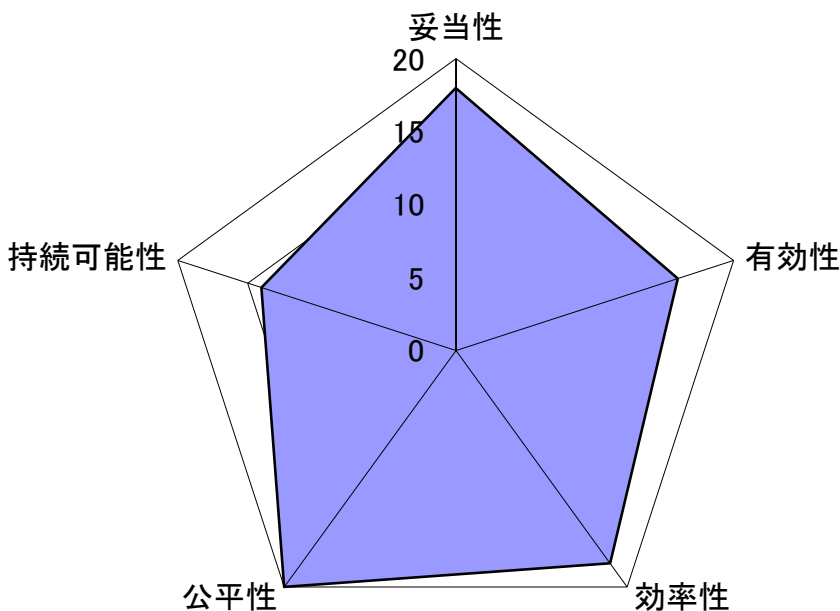
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	01606
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度(2015年度)からの新規事業として開始し、すいた健康サポーター講座には健康づくりに意欲的な方が受講されている。また、健康づくり啓発用品の貸出を始め、地域での活動等において活用されており、利用回数も増加している。</p> <p>また、平成28年度(2016年度)には小学校2校の小学4年生を対象とした「キッズ健康サポーター」を実施し、子どもに対する健康づくりの推進を図るとともに、子どもから親にその成果を反映されることで、健康づくりの普及・啓発の対象を広げることができた。</p> <p>いずれもまだ開始して間もない事業であるため、実施方法等について検討しつつ、より効果的に事業を実施できるよう検討を進める余地があると考えられる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地域自殺対策事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	自殺対策基本法													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	自殺の危険性の高い人を早期に発見する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	自殺者数を減らす。												
(7) 事業概要	全国的に深刻な社会問題となっている自殺問題について、広く市民に啓発を行い、市民一人ひとりが正しい知識を身につけ、周囲の人の悩みに気づき、耳を傾けられるようになることで、自殺の危険性が高い人を早期に発見し、未然に防ぐ一次予防対策を実施する。具体的には、自殺リスクの高い人と接する可能性のある人へ研修等を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	15	大事業	04	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		119	117	161	96	161							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
		総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611						
	総事業費(A+B)		1,790	1,725	1,795	1,676	1,772							
	(内訳)	特定財源(C)		0	22	132	58	91						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	22	132	58	91						
		その他		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		1,790	1,703	1,663	1,618	1,681						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		1,790	1,703	1,663	1,618	1,681						
財源計(C+D)		1,790	1,725	1,795	1,676	1,772								
(10) (該当するものは全部チェック)	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施											
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 ゲートキーパー研修参加者数	目標値	(単位:人)	150.00	150.00	150.00
			実績値	(単位:人)	139.00	120.00	
		達成度(%)				92.7	80.0
	目標値の積算方法 研修定員数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		12.41	0.80	
			一般財源(単位:千円)		12.25	0.32	
	(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)					0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)				0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容			目標			
	②	成果内容	吹田市内の自殺者数を減少させる	達成状況	平成27年(2015年)は35人であった自殺者数が、平成28年(2016年)は38人と、ほぼ横ばいであった。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	我が国における年間自殺者数は近年減少傾向にあるものの、依然として21,000人(平成28年)を超えており、吹田市内においても、平成28年の自殺者数が38人となっている。自殺者数の減少に向けて、今後も継続して実施すべき事業である。平成28年4月から施行された自殺対策基本法の一部を改正する法律では、市町村において地域の実情を勘案した自殺対策計画を策定することとされているなど、自治体には地域の実態に見合った自殺対策施策の更なる展開が求められている。今後の国や府の動向を注視しながら、市町村自殺対策計画の策定に向け検討を進める必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	地域自殺対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	01604				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	01604
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本市において、自殺者数は減少傾向にあるものの、依然として毎年40人程度で推移している状況であるが、自殺者数の減少に向け、身近な人が悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげられるゲートキーパーの養成について取り組むなど、効果をあげる努力をしている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成28年4月から施行された自殺対策基本法の一部を改正する法律では、市町村において地域の実情を勘案した自殺対策計画を策定することとされており、今後、計画の策定にあたっては府の動向も注視しながら検討していく。

事務事業評価調書

事務事業名	健康ポイント事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成28年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	健康すいた21(第2次)						
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明		大阪府市町村健康づくり推進事業補助金(平成28年度・29年度)を申請予定。平成30年度以降は、市単独事業の実施も含め要検討。				
(5) 総合計画の体系	章 03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節 06	細節 20			
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	範囲等	40歳以上の吹田市内在住の市民					
	目標(どういう状態にしたいのか)	市民の健康意識の向上及び、主体的な健康づくりに向けての行動変容					
	結果(どのような効果が得られるのか)	生活習慣の改善等により、健やかで心豊かな生活が送れるようになる。					
(7) 事業概要	市民が健康づくりに取り組む機会を広げる方策の一つとして、特定健診・がん検診の受診や健康講座への参加等をポイント化し、一定のポイントに達した市民に対し、特典として商品等を付与する。市民の健康寿命の延伸をめざし、健康意識の向上と主体的な健康づくりに向けての行動変容を、広く市民全体に促す取組の一つとして実施する。						
(8) H28事業別予算コード	会計 01	款 04	項 01	目 15	大事業 02	中事業 04	小事業 01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		0	0	4,000	2,013	4,000
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.25	0.25
		総額(B)	千円	0	0	2,043	1,976
	総事業費(A+B)		0	0	6,043	3,989	6,013
	特定財源(C)		0	0	1,333	921	1,333
	(内訳)	国		0	0	0	0
		府		0	0	1,333	921
		その他		0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	4,710	3,068	4,680
	(内訳)	地方債		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
		一般財源		0	0	4,710	3,068
財源計(C+D)		0	0	6,043	3,989	6,013	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 健康ポイント商品交換申請者数	目標値	(単位:人)	0.00	1,300.00	1,600.00
			実績値	(単位:人)	0.00	607.00	
		達成度(%)				0.0	46.7
	目標値の積算方法 当初予算において積算している対象者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	3.32	
			一般財源(単位:千円)		0.00	1.80	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 吹田市国保健康診査受診者数	目標値	(単位:人)	0.00	33,880.00
	実績値			(単位:人)	0.00	25,060.00	
	達成度(%)				0.0	74.0	
	目標値の積算方法 対象者数(予算編成時の推計値)に特定健康診査等実施計画(第二期計画)で定めた各年度の目標実施率をかけて算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.08	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.04	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市民が主体的な健康づくりに取り組むことを促すためのインセンティブとして実施するものであるが、ポイント交換申請時におけるアンケートから、本事業をきっかけとして新たに健(検)診を受診した者や、健康教室等の講座に参加された者が一定程度おられることがわかっており、これについて一定の効果がみられたことから、今後も継続して実施していく必要がある。なお、今後の実施にあたっては、本事業の主たるターゲットである健康無関心層に利用してもらえるための更なる方策を検討していく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	健康ポイント事業	事業区分	その他
事務事業番号	01607				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	01607
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>参加者からのアンケートからは、本事業をきっかけとして新たに健(検)診を受診した者や、健康教室等の講座に参加された者が一定程度おられることがわかっており、市民が主体的な健康づくりに取り組むことを促すためのインセンティブとして、一定の効果がみられる。なお、今後の実施にあたっては、本事業の主たるターゲットである健康無関心層に利用してもらえるための更なる方策を検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

本事業の実施に係る府補助金が平成29年度までとなっているため、平成30年度以降の事業実施方法について、市単独実施も含めたあり方の検討が必要。

事務事業評価調書

事務事業名	妊娠・出産包括支援事業				
担当部署	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成28年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	子ども子育て支援法、利用者支援事業実施要綱、母子保健法、児童福祉法						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章 03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節 06	細節 20			
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	範囲等	妊産婦とその家族					
	目標 (どういう状態にしたいのか)	妊産婦の安心感の醸成、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制の構築					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上、児童虐待の発生予防					
(7) 事業概要	子育て世代の包括的な支援の一貫として、妊婦等への母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、専任の保健師が専門的見地から必要な支援のコーディネートを行う。						
(8) H28事業別 予算コード	会計 01	款 04	項 01	目 17	大事業 08	中事業 01	小事業 01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		0	0	8,607	7,337	8,736
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	2.00	2.00
		総額(B)	千円	0	0	16,340	15,800
	総事業費(A+B)		0	0	24,947	23,137	24,840
	特定財源(C)		0	0	5,747	4,898	3,997
	(内訳)	国		0	0	2,860	2,439
		府		0	0	2,860	2,439
		その他		0	0	27	20
	市負担(D)		0	0	19,200	18,239	20,843
	(内訳)	地方債		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
		一般財源		0	0	19,200	18,239
財源計(C+D)		0	0	24,947	23,137	24,840	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①				
②							
③							
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	妊婦面接実施	目標値	(単位:人)	3,606.00	3,418.00	3,500.00
			実績値	(単位:人)	474.00	2,031.00	
			達成度(%)		13.1	59.4	
	目標値の積算方法	妊娠届出数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	3.61	
				一般財源(単位:千円)	0.00	1.20	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	妊娠届出数からの要支援妊婦把握数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
(2) 成果指標	①	妊婦面接実施率	目標値	(単位:%)	0.00	100.00	100.00
			実績値	(単位:%)	0.00	59.40	
			達成度(%)		0.0	59.4	
	目標値の積算方法	妊婦面接実施数/妊娠届出数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	123.52	
				一般財源(単位:千円)	0.00	41.06	
			達成度(%)		0.0	100.0	
	②	指標内容	目標値	(単位:人)	0.00	299.00	350.00
			実績値	(単位:人)	0.00	299.00	
			達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法	妊娠届出数からの要支援妊婦把握数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	24.54	
一般財源(単位:千円)				0.00	8.16		
達成度(%)			0.0	100.0			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>平成28年度創設した新規事業で、妊娠期からの切れ目ない支援を提供する子育て世代包括支援センターの機能を担う。</p> <p>10月から、妊娠届出の窓口を保健センター及び保健センター南千里分館に集約し、妊娠届出時に専任の保健師が、すべての妊婦に妊娠・出産・子育てのきめ細やかな情報提供と相談支援に努めた。また、妊婦の安心感を醸成するための産後ケア事業や産前・産後サポート事業等の検討を同時に行った。</p> <p>平成29年度からは産後ケア事業や産前・産後サポート事業等が新規事業として立ち上がったため、妊娠出産包括支援事業を妊産婦相談支援事業と名称を変更するとともに、それぞれの事業名に分割し事業を展開している。産後ケア事業においては、産後の母親の心身のケア等を目的にヘルパーによる家事支援等よりきめ細かいサービスの実施が必要と考える。</p>				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	妊娠・出産包括支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	01608				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点		
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	01608
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>妊娠期からの切れ目ない支援を実施するための、根幹をなす事業。 平成28年度は、妊娠届出時の相談支援体制の強化を図った。面接した妊婦へのアンケートからは、今後、心配な時の相談窓口を知ることができた等、相談への評価が高かった。 平成29年度から産後ケア事業や産前・産後サポート事業、訪問指導事業等を一体的に実施するため、本事業の相談機能強化と、コーディネート機能の強化を図るため、拡充していく予定である。妊産婦の安心感の醸成を図り、虐待の発生予防に資する事業であるため、期待する事業効果が得られると考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

国は、本事業が担う子育て世代包括支援センターを平成32年度までに全国展開するとしており、産後ケア事業、産前・産後サポート事業等と一体的に妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を実施することが、虐待の発生予防につながるとしている。

事務事業評価調書

事務事業名	新型インフルエンザ等対策物資備蓄事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成28年度	改正 内容						
(2)	直近の改正								
(3)	根拠法令等	新型インフルエンザ等対策特別措置法、吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	26	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	市民						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	新型インフルエンザ等の発生時、迅速に市民へのワクチン接種を実施する。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	新型インフルエンザ等の感染拡大を最小限に抑えることにより、市民の健康保持が図られる。							
(7)	事業概要	新型インフルエンザ等対策特別措置法及び吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、新型インフルエンザ等が発生した際に市民へのワクチン接種に使用する注射器等を備蓄する。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	786	405	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00
			総額(B)	千円	0	0	818	790	0
		総事業費(A+B)		0	0	1,604	1,195	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	1,604	1,195	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	1,604	1,195	0		
財源計(C+D)		0	0	1,604	1,195	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	市民へのワクチン接種用注射器の備蓄本数	目標値	(単位:本)	0.00	25,000.00	25,000.00
			実績値	(単位:本)	0.00	25,000.00		
		達成度(%)				0.0	100.0	
	目標値の積算方法	吹田市新型インフルエンザ等対策に係る備蓄方針に基づく住民接種用注射器の必要数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.02	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.02	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難指標など場合示す		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)				0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
①	活動内容			目標				
	②	成果内容	新型インフルエンザ等の対策物資を適切に管理することにより、新型インフルエンザ等の発生時に迅速な対応が可能となり、感染拡大防止を図ることができると考えている。	達成状況		感染拡大防止の状況の指標設定は困難である。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	本事業は新型インフルエンザ等対策特別措置法及び吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき実施している事業である。 新型インフルエンザ等の発生時に使用する市民へのワクチン接種用注射器を事前に備蓄し、適切に管理することで新型インフルエンザ等の発生時に迅速に対応することができ、感染拡大防止に非常に有効であると考えていることから、今後も事業を継続していく必要がある。						

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	新型インフルエンザ等対策物資備蓄事業	事業区分	その他
事務事業番号	01668				

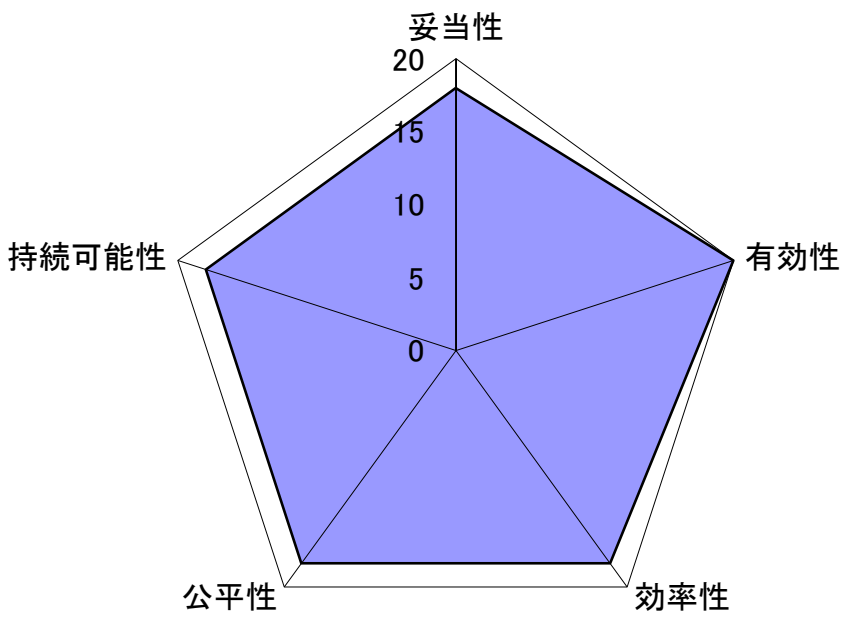
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	01668
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>新型インフルエンザ等の発生に備えて市民へのワクチン接種用注射器を備蓄することは、新型インフルエンザ等の発生時に迅速な対応が可能となり、感染拡大防止を図ることができることから、市民の生命と健康保持に非常に有効なため、今後も継続して実施していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)